

KOSAI 50th

幌西地区連合町内会 記念誌



2022（令和4）年50周年を記念し製作した「連町旗」

幌西地区連合町内会と町内会の関係とは？

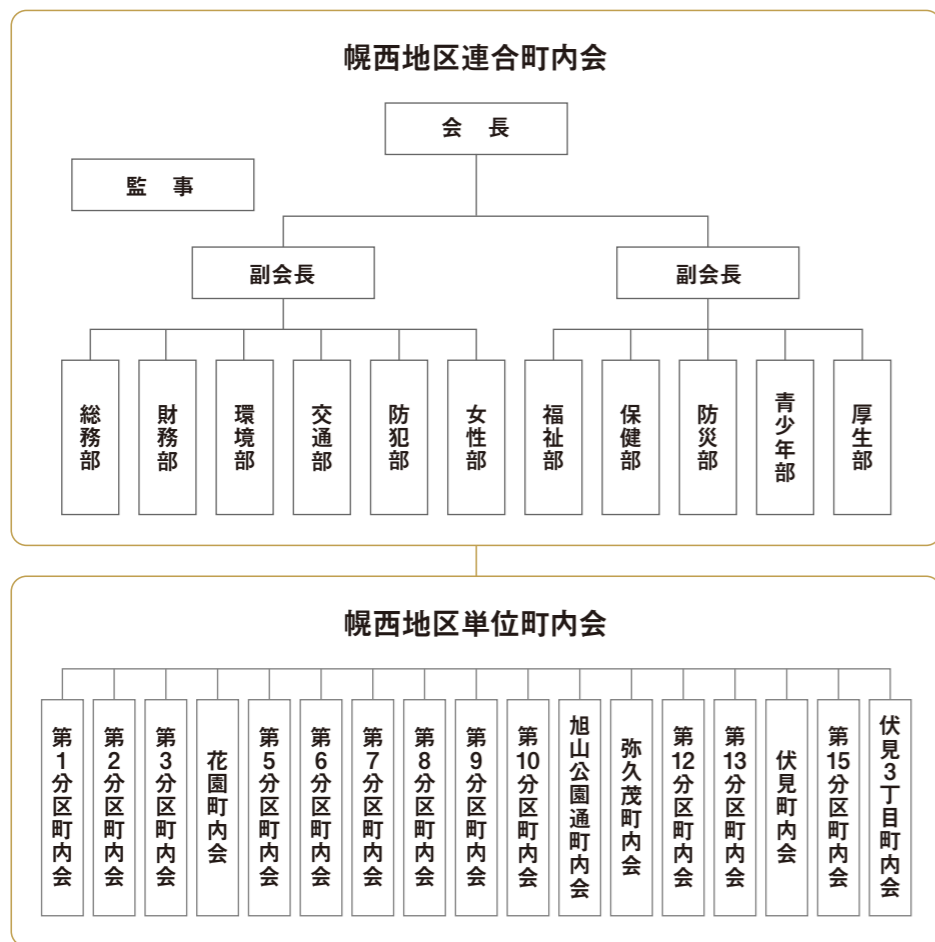
町内会は回覧板の回る区域です。

幌西地区にある17の町内会の集まりが「幌西地区連合町内会(連町)」です。

連町に対して町内会を「単位町内会(単町)」と呼ぶこともあります。

幌西連町は下の図の通り11の部で構成され、さまざまな取り組みを行っています。

単町にも同じような役割の部があります。



● 幌西地区連合町内会 組織図

幌西地区連合町内会の活動拠点 幌西会館

- 幌西会館には幌西まちづくりセンター(まちセン)が併設されています。
- 会館には貸室が2室。町内行事からヨガや書道塾などで活用される交流の場です。
- 幌西まちセンでは所長(市職員)と支援員さん2名が連町のまちづくり活動をサポートしてくれています。
- まちセンでは戸籍謄本や住民票も取得できます。



こんにちはは、中央区幌西地区連合町内会です

この50周年記念誌では、幌西地区の魅力と町内会やまちづくり活動のことをお伝えします。

目次

こんにちは、幌西連町です	1
幌西地区の歴史	2
幌西地区の一年 (行事カレンダー)	6
幌西地区小中学校のご紹介	12
幌西の公園大好き!	13
幌西地区単町めぐりマップ	14
「幌西の老舗」案内	32
人と地域をつなぐ場所	35
歴史とつながる集いの場	38
子どもたちの夢が未来をつくる	39
幌西の未来につなげる 50周年記念プロジェクト	40
幌西連町50年の歩みに思う	42

このまちで暮らした多くの人々が築き上げ、大切に守り続けてきた宝ものです。50周年を記念して、これまで、現在、そして未来の幌西を皆さんと一緒に考えてみたいと思います。私たちの大好きな幌西地区がこれからも輝き続けることを願って。

この半世紀でまちは大きく変わりましたが、変わらないこともたくさんあります。

市電が走る風景
緑豊かな藻岩山
子どもたちの明るい声
大人たちの笑顔
安心して暮らせる環境



2022年「第30回幌西夏まつり」
幌西ほうおんにて

幌西地区の歴史

山鼻村と屯田兵

幌西地区は、曙地区、山鼻地区、南区の川沿地区などと共ににかつては山鼻村に属していました。

1869（明治2）年、政府は開拓を設けて北海道の本格的な開拓に着手、その5年後に豊平村や上白石村（白石村から分村）と共に山鼻村が設置されました。

山鼻の地名は、藻岩山の麓に位置するため「山端」と呼ばれ、山鼻の字が当てられたと言われています。また、以前はアイヌ語で「ユク・ニクリ」（鹿林）と呼ばれ、一帯にシカが多かったことがわかります。

1876（明治9）年、この山鼻村に北海道の開拓と北の守りを固めるために屯田兵が入植します。当時あたり一面クマザサが密生し、大木がそびえる原野で、クマヤシカ、キツネなどが多く生息していました。屯田兵の人々は元武士で農業の経験がなく、その苦労は大変なものでしたが、麦やあわ、そばなどを植え、養蚕のための桑、亜麻、藍、りんごなど果樹の栽培も行いました。

一方、伏見地区には1871（明治4）年に山形県から佐藤三郎右衛門・三蔵父子、松山石蔵ら4名が入植し、「四軒村」と呼ばれていました。その後次々と入植者があり、純農村集落として発展。1907（明治40）年に伏見稲荷神社の分神を琴似から移して奉祀したことから、地名を「伏見」と改めました。

幌西小学校の開校

1921（大正10）年、札幌中心部と山鼻を結ぶ道路ができることになり、屯田兵の畑があった土地にも次第に家が建ち始めます。

当時近くの小学校は山鼻尋常小学校だけで、人口増加とともに教室が

足りなくなり、1926（大正15）年に幌西尋常小学校（現在の幌西小学校）が開校しました。

この頃の西17丁目通は草がうっそうと茂り、子どもたちの歩く場所だけが一筋の道になっていたそうです。

改築前の幌西小学校
（出典：幌西連町20年誌）



馬車から電車、バスへ

明治時代、農家は馬を飼って畑を耕すほか、作物の運搬や外出に馬車を使っていました。冬は馬そりです。1909（明治42）年に石切山から札幌まで石材を運ぶ馬車鉄道が開通すると、幌西地区の人々も馬車鉄道を利用するようになりました。

1918（大正7）年に、札幌で開道50年記念北海道博覧会が開催され、記念事業の一環として札幌に初

めて電車が走り始めます。そして1931（昭和6）年11月、山鼻西線が開通し、幌西地区が大きく発展する礎となりました。

また、1930（昭和5）年には市営バスが運行を開始し、2年後に幌西地区でも運行が始まり、さらに交通の便が良くなりました。

幌西地区を走る市電
西線市場（南12西15）の看板が見える
（写真提供：札幌こんぶ屋）



農業の発展

屯田兵に奨励された桑の栽培は養蚕の衰退にともない減少しますが、果樹栽培はその後も盛んに行われ、平岸や札幌村などとともに果樹地帯を形成します。また牧場もでき、牛乳や乳製品の製造・販売が行われました。その中には北海道酪農に貢献した佐藤善七や黒澤西蔵の牧場もありました。

伏見地区は明治時代から札幌の野菜供給地として発展を続け、昭和20年代頃まで「蔬菜の伏見」として全道に知られていたほどです。



1923（大正12）年開業
黒澤牧場（南14西14）
（出典：幌西連町20年誌）

宅地化の進展

幌西地区の宅地化が本格化するのには、戦後人々が落ち着きを取り戻す昭和20年代後半から昭和30年代にかけてです。宅地化は西屯田通から西

への広がりが先行し、南方向へと移っていきました。利便性の良さから集合住宅や商店などが増えると同時に、公共施設や企業も増え、官舎や社宅も建ち並ぶようになりました。

昭和初期、円山頂上から見た幌西地区
（出典：幌西連町20年誌）



連合町内会の発足

札幌市の人口が110万人を超え、冬季オリンピックが開催された1972（昭和47）年、札幌市は政令指定都市となり区制が施行されます。同時に市内の出張所が連絡所へと変わりました。出張所は地域の自治会や婦人会、街灯組合など各種団体と協力してまちづくりを進めていきましたが、急激な人口増加などにより行政から住民へのサービスや対話にひずみが生じやすくなっていました。

こうした状況を解決するため、地域の特徴を生かし、住民が直接参加する地域づくりを目指し、単位町内会が次々と結成されました。

さらに各町内会が緊密な連携をもって統合的な自治活動を推進するため、1972（昭和47）年4月1日、「中央区幌西地区連合町内会」が発足。こうして住民が主体となったまちづくりが本格的に始まったのです。

1977（昭和52）年頃の
幌西連絡所（南11西15）
（写真：札幌市公文書館所蔵）



1965（昭和40）年頃、南8西14の美松ビル屋上より南西をのぞむ
（出典：幌西連町20年誌）

幌西地区年表／主なできごと

KOSAI history

1871	明治 4	山形県より佐藤三蔵らが伏見方面に入植
1874	明治 7	札幌郡に豊平村、上白石村、山鼻村設置
1876	明治 9	青森、秋田、山形、岩手、宮城、福島並びに有珠郡の士族、屯田兵として山鼻(240戸)、発寒(35戸)入植
1888	明治 21	山鼻兵村に兵村会設置 (町村自治会のはじめ)
1906	明治 39	山鼻・円山両村合併、藻岩村と改称
1907	明治 40	伏見稲荷神社を琴似村十二軒から現在地に遷宮
1926	大正 15	幌西小学校開校
1930	昭和 5	幌西警察官派出所開設
1931	昭和 6	市電山鼻西線 (南1西14～南19西15) 開通
1933	昭和 8	札幌南11条郵便局開設
1943	昭和 18	札幌幌西郵便局開設
1947	昭和 22	啓明中学校開校 札幌市幌西出張所開設
1950	昭和 25	札幌市幌西出張所 新築移転
1951	昭和 26	市電西線全線複線化 工事完成
1952	昭和 27	札幌市消防署幌西出張所 開所
1954	昭和 29	伏見地区区画整理事業 開始
1955	昭和 30	緑丘小学校開校
1958	昭和 33	幌西地区商工成年会 結成
1959	昭和 34	札幌南14条西郵便局 開設
1961	昭和 36	伏見中学校開校
1962	昭和 37	日赤奉仕団幌西分団 結成
1964	昭和 39	啓明バスターミナル 竣工 北海道相互銀行札幌西支店 開行
1965	昭和 40	NTT札幌南営業所 開所
1966	昭和 41	幌西地区社会福祉協議会 設立
1967	昭和 42	伏見警察官派出所 開設
1968	昭和 43	伏見小学校開校
1972	昭和 47	幌西出張所が組織変更、幌西連絡所に改称 幌西地区連合町内会 発足



M101号

ポラリス

幌西地区で愛され続ける～札幌市電の歴史

1918	大正7	札幌電気軌道として開業
1925	大正14	ササラ電車運行開始
1927	昭和2	市営化
1931	昭和6	山鼻西線、新設開通
1945	昭和20	乗務員に学徒勤労報国隊を受入(高女生の車掌)
1949	昭和24	札幌創建80周年記念行事で花電車運行
1954	昭和29	山鼻西線、全線複線化
1959	昭和34	皇太子殿下御結婚記念行事で奉祝花電車運行
1968	昭和43	札幌創建100周年記念行事で花電車運行
2000	平成12	北海道コカ・コーラボトリングの「クリスマス電車」運行開始
2011	平成23	雪まつりに合わせて初音ミクの「雪ミク電車」運行開始
2013	平成25	新型低床車両「ポラリス」運行開始
2015	平成27	ループ化開業

設立50周年

2022 令和4

- 1月 2019年から中止していた新年交際会を開催
基本的な感染対策を続けつつウィズコロナの段階に進み始める
- 3月 「未来につなげる幌西まちづくりビジョン」策定
- 7月 女性部主催により「幌西夏まつり」も再開
会場を幌西ほうおんに移しフリーマーケットなど多世代が楽しめる企画を始動
- 9月 「ふれあいの集い」再開
若手芸人を呼び、漫才で盛り上がる
- 9月 幌西地区市電沿線で無電柱化整備・舗道拡張工事着手。
沿線の店舗・住宅等の移転が始まり、街並みが大きく変わる

2023 令和5

- 4月 全国初「札幌市未来へつなぐ町内会ささえあい条例」施行。
地域の暮らしを支え合うまちづくりの継承・推進の取り組みが始まる

2022年
漫画「鬼滅の刃」主題歌が大ヒット
動画ストリーム回数、配信回数がヒット
の基準として定着

2015年
AKB・SKB・乃木坂グループが
オリコンチャート1～8位を独占



振り返って みると

そして未来へつながる



2006 平成18

- 3月 札幌市と地域の環境美化に関する「アダプト・プログラム」の覚書取り交わし
幌西連町「花香のまち幌西」の活動を開始

2007 平成19

- 連町防犯部と南警察署による「青色パトロール隊」
装備車18台でスタート

2009 平成21

- 7月 札幌市の家庭ごみ有料化開始
「ごみステーションの管理」がより重要になる

2015 平成27

- 12月 連町青少年部による「子どもインドア雪合戦大会」スタート

2018 平成30

- 9月 北海道胆振東部地震発生
民生委員、防災部をはじめ地域の皆さんの協力により、安否確認や情報収集等、減災の取り組みが行われる

2019 平成31/令和元

- 5月 平成天皇の退位により平成から「令和」へ

2020 令和2

- 1月 新型コロナウイルス感染症が国内でも発生
- 2月 「北海道緊急事態宣言」が発令
以降、様々な活動自粛が広がり、連町・単町行事はすべて中止、町内会総会も書面開催が義務付けられる

2021 令和3

- 1月 札幌にドカ雪が降り、統計史上第1位の積雪55cmを記録
JR北海道では大規模運休が発生。通常運行に戻るまで1週間かかる

設立20周年

1992 平成4

- 5月 幌西連町20周年記念誌「20年のあゆみ」発刊

1993 平成5

- 7月 「幌西ふれあい夏まつり」開催(以後毎年実施)

1995 平成7

- 12月 南警察署幌西交番改築落成

1996 平成8

- 4月 福祉のまちづくり「幌西地区ふれあいセンター」開設

1997 平成9

- 1月 「新年子どもの集い」開催(以後毎年実施)

1999 平成11

- 4月 幌西地区交通安全実践会設立

1992年
米米クラブ「君がいるだけで」
浜田省吾「悲しみは雪のように」
CM・ドラマの主題歌から大ヒット

設立30周年

2003 平成15

- 3月 幌西連町30周年記念式典開催、「幌西史誌」発刊
- 3月 旭山公園通地区センター落成
- 9月 パークゴルフ大会を初開催(以後毎年実施)

2004 平成16

- 9月 風速50.2mの暴風を伴う台風18号通称「ボブラ台風」。
札幌市内に多くの被害。南9条の市電線路にプレハブ造りの一軒家が飛ばされ、市電も止まり、八条市場が倒壊

2003年
中島みゆき「地上の星」
SMAP「世界で一つだけの花」
今も歌い続けられる名曲がヒット



幌西連町の50年を振り返ると
さまざまな出来事がありました。
当時のヒット曲と共に年表
でお伝えします。
楽しかったこと、苦勞しながら
みんなで力を合わせたこと。
そこにはいつも「もっと住みや
すいまちに」「子どもたちがい
きいきと成長できるように」と
いう、未来への願いがあります。
未来の幌西のために、これか
ら私たちの歩みは続きます。

幌西連町発足

1972 昭和47

- 4月 幌西地区連合町内会発足
- 9月 連町主催「敬老会」開催(昭和60年まで毎年実施)

1973 昭和48

- 1月 第1回幌西地区新年交際会開催(以後毎年実施)
- 8月 「盆踊り大会」南11条おおたに公園にて開始(昭和53年
まで実施)

1974 昭和49

- 1月 旭山公園記念会館落成

1975 昭和50

- 8月 「南9条通盆踊り大会」ハイヤー会館駐車場にて開始
(以後毎年実施)

1978 昭和53

- 8月 「自転車公園子ども盆踊り大会」開始(以後毎年実施)

1979 昭和54

- 9月 「第1回幌西地区大運動会」開始(以後毎年実施)

1981 昭和56

- 8月 連町主催「少年少女ソフトボール大会」開催
(平成6年まで実施)

- 9月 大雨のため高台からの鉄砲水により第4分区の家屋床下
浸水

1986 昭和61

- 11月 幌西会館(幌西連絡所)新築移転

1987 昭和62

- 8月 幌西少年消防クラブ結成
- 8月 「伏見公園子ども盆踊り大会」開始(以後毎年実施)

1989 昭和64/平成元

- 1月 昭和天皇崩御
- 1月 幌西児童会館開館
- 11月 独居老人への料理給食会を「ふれあいの集い」と改め、
日帰り小旅行を加え年2回開催(以後毎年実施)

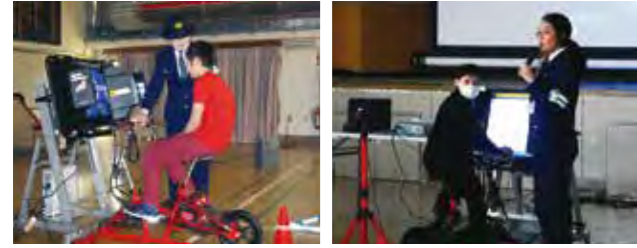
1972年
荒井由実「返事はいらない」で
デビュー

1986年
中森明菜
「DESIRE-情熱-」で
レコード大賞受賞

5月 May

自転車交通安全教室

自転車を安全に運転できるよう、札幌方面南警察署による教室を開催。自転車シミュレーターの実車教習などを通じて、楽しく学べます。



幌西連町総会

連町の今年一年の方針を決定する最も重要な会議です。



6月 June

街興し子ども神輿渡御(札幌まつり)

1960(昭和35)年から続く子ども神輿は、町内を約2時間かけて巡ります。町内会はじめ地域団体や事業者、学校等多くのご協力で運営されています。



7月 July

幌西夏まつり

1979(昭和54)年からスタートした幌西伝統の夏まつり。コロナ禍も落ち着いた2022(令和4)年に3年ぶりに再開し、会場を(社福)幌西ほうおんに移転。感染症対策を継続し飲食物は持ち帰り方式、フリーマーケットを導入など、さらに多世代が楽しめる夏まつりになりました。



健康づくり教室①

健康づくりの為に色々な分野の講師をお呼びしての講演や頭や体の健康体操をしています。体操の講師の方が人気で足を運んで来る人もいますとか…。



ウォーキング

往復約5kmをゆったりとウォーキング。令和4年度は大通公園でした。



みんなで楽しくふまねっと&カフェ①

健康寿命を伸ばすため「きょういく(今日行くところがある)」、「きょうよう(今日の用事)」の場として実施。「ふまねっと」とカフェを年3回実施しています。



防災研修会in幌西小

基幹避難所である小学校のうち、幌西小で講演と体験型研修を行っています



夏の交通安全街頭啓発

交通安全街頭啓発はドライバーの安全運転意識向上のため、旗を振ってアピールします。



夏の防犯・防火パトロール

防犯・防火パトロールは、夏と歳末期に実施しています。

楽しみがたくさん!

幌西地区の一年

Kosai Four Seasons

行事カレンダー

幌西地区連町には、子どもから大人まで楽しめる行事やまちづくり活動がたくさんあります。

こうした行事は人のつながりを育み、にぎわいを生み、安全安心なまちを創り出しています。

4月 April

小学校の子どもを守る会 春のボランティア斉活動

幌西地区から通える小学校には「子どもを守る会」があります。春の斉活動は新1年生とボランティアが安心して挨拶し合えるようになるための大切な会です。



小学校新入学生 交通安全特別啓発

毎年入学式の日、学校前で新1年生に交通安全の大切さを伝えます。



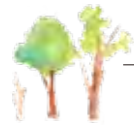
春の花植え活動(花香るまち幌西事業) 花苗づくり講習会、歩道ます花壇づくり 中央区道路環境美化活動

幌西連町は札幌市「アダプト・プログラム」に参加。道路・歩道の景観を育む活動に取り組んでいます。



4月「花苗づくり講習会」を皮切りに、春から秋にかけて連町や各単町で、おしゃべりを楽しみながらまちをきれいにしています。





子どもすもう大会(伏見稲荷神社)

青少年育成委員会

毎年9月8～9日の伏見稲荷神社宵宮祭・例祭での奉納相撲が起源。対象は幼児から小学校6年生。幼児の部はともかわいらしく、小学生は迫力満点。升席の歓声が飛び交います。



ふれあいの集い

福祉部

70歳以上の方を主対象に、ふれあいを楽しみ健康を学びます。令和3年ワークショップを機に「より笑える集い」をやってみようとして芸人さんを初招聘しました。



健康づくり教室②

保健部

「自分の健康は自分で守る」健康づくりを目指し、皆さん数値を気にしながら年に一度健康チェックを行っています。



子どもを見守る地域の集い

青少年部 青少年育成委員会

子ども達の健全育成に関わっている幌西地区の各関係団体が一堂に会し、講演やグループトーク等を開催し参加者全員で情報を共有、意見交換を行っています。



防災研修会in伏見中

防災部

基幹避難所である伏見中学校で防災に関する講演と体験型研修を行っています。



パークゴルフ大会

厚生部

2003(平成15)年から継続。約50名が参加。豊平川の大自然の下、18ホールストロークプレイを楽しみます。



秋の交通安全街頭啓発

交通部

交通安全街頭啓発はドライバーの安全運転意識向上のため、旗を振ってアピールします。



みんなで楽しくふまねっと&カフェ②

保健部

運動をしたらちょっと一休み。楽しいカフェの時間。お茶とお菓子で情報交換や専門の方たちにいろいろなことを教えていただきます。



防犯街頭啓発

防犯部

通行者にパンフレットを配布し、防犯啓発を行います。



幌西地区連合町内会 大運動会

厚生部

1979(昭和54)年から続き約600名が参加する幌西地区の一大イベント。綱引き・リレー・玉入れなど世代や体力に関係なく参加でき、入賞・参加賞もたくさん。大人も本気になってしまう運動会。



地区盆踊り大会

各単町

夏休みの盆踊り大会は3カ所で開催されます。コロナ禍で盆踊りが中止になっていても子どもたちは太鼓の練習を楽しく頑張っており、腕をさらに上げました。令和4年度からは3年ぶりにそれぞれ再開。全地区回ってみるのもオススメです。



実施会場

- 自転車公園(南14西18) / 第1・2・3・花園・5・6・7・8・13分区
- 北海道ハイヤー会館(南8西15) / 第10・12・旭山・弥久茂
- 伏見公園(南13西23) / 第15分区

夏休みラジオ体操

各単町

夏休み中は地区内7カ所で開催しています。早起きをして、全身有酸素運動の「ラジオ体操」を楽しみ、休暇中も心身に整えましょう。



実施会場

- 自転車公園(南14西18) / 第2・3・5・6分区
 - 西屯田通公園(南12西13) / 第7・8分区
 - ハローワーク札幌(南10西14) / 第9分区
 - 幌西小学校グラウンド(南10西17) / 第10分区
 - 旭山ちびっこ公園(南9西18) / 旭山公園通
 - 北海道ハイヤー会館(南8西15) / 第12分区
 - 伏見公園(南13西23) / 第15分区
- *その他、通年で実施している町内会もあります。

防火花火の夕べ(自転車公園)

幌西地区消防団

花火を楽しみながら防火を学ぶ、実践的で皆さんと楽しめる集いです。目玉花火は手作りの「ナイアガラ」の滝。大人も子どもも一見の価値があります。



*連町の定例行事はありません

通年、不定期



KOSAIおしゃべり会

令和3年度ワークショップを機にスタートしました。
 幌西の楽しいことや魅力の情報交換、まちの困りごとを解決するアイデアなどをおしゃべりする会です。
 *WEBサイトや回覧板、幌西まちセンへの掲示等で開催をお知らせします。ぜひご参加ください。



お茶会

令和3年度ワークショップのアイデア「趣味、体験などテーマ型の集いは参加しやすいのでは」を元に薄茶を楽しむ会を試行しました。評判は上々。継続的な実施を検討中です!



お一人暮らしの方への支援事業

福祉部

幌西の高齢のお一人暮らしの方と支え合っていくための取り組みを通年でを行っています。

情報発信



幌西地区連合町内会 公式ウェブサイト

50周年記念として立ち上げました。連町だけでなく単町のイベント情報が個別に表示され、それぞれの単町で投稿することが可能です。今後は運営の仕組みづくりに力を入れて、皆さんに役立つ情報を発信していきます。皆さま、まずは定期的にご覧ください!!



交通安全啓発誌「ほっと」(年2回)

交通部

交通安全に関わる最新情報と幌西地区での取り組みを、回覧板でお届けします。



回覧板(月2回)

各単町

皆さまおなじみの地域情報発信ツール。今後はWEBサイトでも見られるようにしていきます。
 令和5年以降は「読みたくなる回覧板」の検討もしていきたいです。

12月 December



子どもインドア雪合戦大会

青少年部

雪玉は競技用のソフト玉、専用防具もあり誰でも安全に楽しめます。
 大会は小学生対象、高学年と低学年で東西南北のチームを作り順位を競います。未経験でも大丈夫です。



防災・防犯合同研修会

防犯部

防災部

年末に起こる犯罪や火災等の被害を根絶するため、警察・消防関係者などから研修を受け最新の事象・動向を把握します。



歳末防犯・防火パトロール

各単町

連町や単町で「戸締まり用心火の用心!」を拍子木に合わせて呼び掛けます。



1月 January



新年子どもの集い

青少年育成委員会

青少年部

地域の子どもたちや保護者の方等約200名が参加。例年は餅つき、ミニ運動会、昔あそびを行っていますが、令和4年度は感染症対策に配慮し観覧できるように、北海道警察音楽隊、カラーガード隊をお招きし、コンサートとパフォーマンスを楽しみました。



新年交礼会

総務部

町内会役員や地域団体の皆さんの挨拶と慰労の場。中央区長、区地域振興課など市民自治に関わる行政職員も参加。あちこちで意見交換が行われます。



女性部新年の集い

女性部

17町内会の参加希望の皆さまが集い、ビンゴゲーム等で盛り上がり親睦を深め、1年のスタートを祝います。



2月 February



応急手当訓練(普通救命講習Ⅰ)

防災部

ケガや倒れた方の応急手当、止血法やのどつまりの除去、心肺蘇生法、AED操作法などを実践。受講者には「普通救命講習修了証」が交付されます。



みんなで楽しくふまねっと&カフェ③

保健部

手拍子や歌いながらリズムに乗って、ネットを踏まない様に1・2・3! 楽しく笑いながら...



3月 March



*連町の定例行事はありません

町内会活動サポーター募集中!

できることを、できるときに。
 幌西で「ちょこっとボランティア」しませんか?



WEBサイト
 更新サポーター
 (月1~2回程度)



行事レポーター
 (月1回程度)



幌西大運動会
 運営サポーター
 (年1回)



あなたの特技や趣味を
 生かしてみませんか?

お申し込み・お問い合わせは
 幌西まちづくりセンター **561-3256** まで



園路には中央線や横断歩道もあります
(写真提供:WEBサイト「得北」/公園/幌西自転車公園)



子どもたちの作った樹名板を見ると、
樹種の多さがわかります



コンビネーション遊具もあります

幌西自転車公園

(南14西18、第3分区町内会)

自転車に乗れる?!
ボールで遊べる?!

幌西の公園大好き

幌西地区には、昭和20年代後半から官舎や社員寮などの大きな施設が建造されました。時代の変化と共に施設はマンションに変わり、そのうちの一部は地域住民との意見交換を基に个性的で皆さんに愛される公園になりました。

かつては札幌市交通局職員住宅でした。その後地下鉄東西線工事の資材置き場から空き地に。1978(昭和53)年、町内会が市からこの空き地を借り受け、今は思い出となりましたが「雪中運動会」をスタート。1980(昭和55)年には市と住民の公園づくり企画委員会を設置。意見交換の結果「安心して自転車遊びができる公園」づくりを決めました。

子どもたちが自転車や遊具で安全に遊んだり、「手作り樹名板」で木の名前や木を大切にすることを学んだり、これからも思い切り遊んでほしい公園です。

札幌では有名です。
「自転車に乗れる公園」

南11条おおたに公園

(南11西16、第6分区町内会)



大小コンビネーション遊具があります



小さな子どもたちのための遊具もあります

野球ができる

普通の公園は珍しい!

1974(昭和49)年開園。大谷学園から市への土地寄贈を受けて完成した「おおたに公園」です。戦時中には一面のじゃがいも畑でした。

幌西で唯一、野球などの球技ができる多目的の広場があり、各種スポーツの練習から幼稚園の運動会まで活用されています。冬には2つのスキー山ができます。

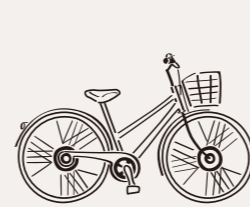
園内には樹齢80年を超えたポプラやカツラ、柳の大き木が林立。開園当時に町内会役員も手伝って植樹したエゾヤマザクラが大きく育ち、春にはお花見を楽しむ方も多く、春夏秋冬それぞれの憩いをもたらしてくれる公園です。



お花見をしている姿がよくみられます



ネットで囲まれボール遊びができる多目的広場



幌西地区 小中学校のご紹介



- 全校児童数 888名
- 開校 1926(大正15)年

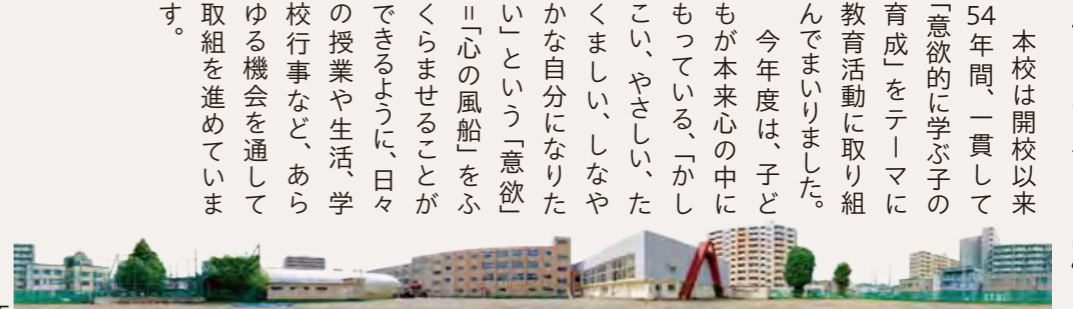
幌西小学校
本校は、開校97周年を迎えた歴史ある学校です。校章には「みんなで助け合い、しっかりと学習していく学校」という意味があります。

幌西笑楽好(しょうがっこう)として、笑顔あふれる楽しい学校、好奇心に満ち、好きなことが増えていく学校を目指しています。

また、学びの充実のためにICTを活用しており、一人一人が豊かに学ぶ環境を大切にしています。



- 全校児童数 720名
- 開校 1968(昭和43)年



伏見小学校
本校は開校以来54年間、一貫して「意欲的に学ぶ子の育成」をテーマに教育活動に取り組んでまいりました。

今年度は、子どもが本来心の中にもっている、「かしい、やさしい、たのしい、しなやかな自分になりたい」という「意欲」

「心の風船」をふくらませることができるよう、日々の授業や生活、学校行事など、あらゆる機会を通して取組を進めています。



- 全校児童数 895名
- 開校 1955(昭和30)年

緑丘小学校
令和4年度は、「心がつながる学校」を重点目標とし、「あこがれ」と「ありがとうでつながるみどりっ子」を目指しています。

また、子どもたちに「何のために★誰のために」を常に問い掛け教育活動に臨んでいます。『自分で決める「意欲」をもつ子』の育成を目指し、学校研究に取り組んでいます。



- 全校児童数 838名
- 開校 1947(昭和22)年

啓明中学校
円山を臨む文教地区に位置し、「啓明」は心広やかに知識を啓発するという意味をもちます。

二人一人の多様性を認め合い、自他のよさを発揮できる学校を目標に、生徒は「独立自往」の精神のもと文武両道を実践していきます。また、学校行事などを通じた、地域との繋がりを大切にしています。



- 全校児童数 599名
- 開校 1961(昭和36)年

伏見中学校
今年度、開校62年目を迎えた本校では、「すべての人が幸せになれる、安全で安心して過ごせる学校」をスローガンとしています。

一人一台端末を活用し、感染症対策を徹底しながら行事を行い、生徒たちの笑顔が溢れ、主体性や創造性が一層育まれるよう取り組んでいます。



札幌ドーム見学会
札幌ドームにお勤めの町内会役員さんの協力で、球場施設を見学しました。グラウンドに下り、マウンドやダックアウトを体感し、空中エスカレーターで展望台に上り札幌市街のパノラマを楽しみ、その後近くの羊ヶ丘ビール園に移動。ジンギスカンパーティーで親睦を図りました。



やぐるま公園(南16西14)
大きな樹木に囲まれ、くつろげる場所です。ライオンのオブジェが子どもたちを見守っています。



みどり公園(南15西13)
小さな公園ですが、町内会の皆さんが花壇の手入れをしています。公園に設置している防災庫は定期的に点検を行い、まちの防災に役立っています。



パークゴルフと温泉の旅
近年は自粛していますが、毎年、町内会の親睦を図るため、旅行を企画していました。パークゴルフと温泉の旅は楽しく、参加者にも大好評でした。

第1分区町内会は、幌西地区連合町内会で最も南西に位置しています。屯田兵によって開拓の鍬が入られた地域で、屯田兵を先祖にもつ方も住んでいる地域です。

その後、一帯は閑静な住宅街となりましたが、近年は高齢化、戸建住宅の老朽化が進み、世代交代の際に建て替わってアパートやマンションが増えています。



札幌まつり狩衣奉仕員
町内会には札幌まつりの奉仕員として狩衣を着けて参列する人もいます。

第1分区町内会

地図番号①

最寄駅

西線14条
西線16条

TOWN DATA

町内会データ

設立 1972(昭和47)年9月1日
区域 南14条南側～南16条、西13～14丁目
学校区 幌西小、伏見小、伏見中

加入世帯数 6226

公園 みどりやぐるま

●町内会のいま

早い時期からデジタル化に取り組み、会計ソフトづくりにより財務担当者の効率化や会費の徴収方法の簡潔さにより、班長さんの負担軽減を実現しました。

また町内会の地図はコンピューターで作成し、常に最新の地図を提供しています。

●町内会のむかし

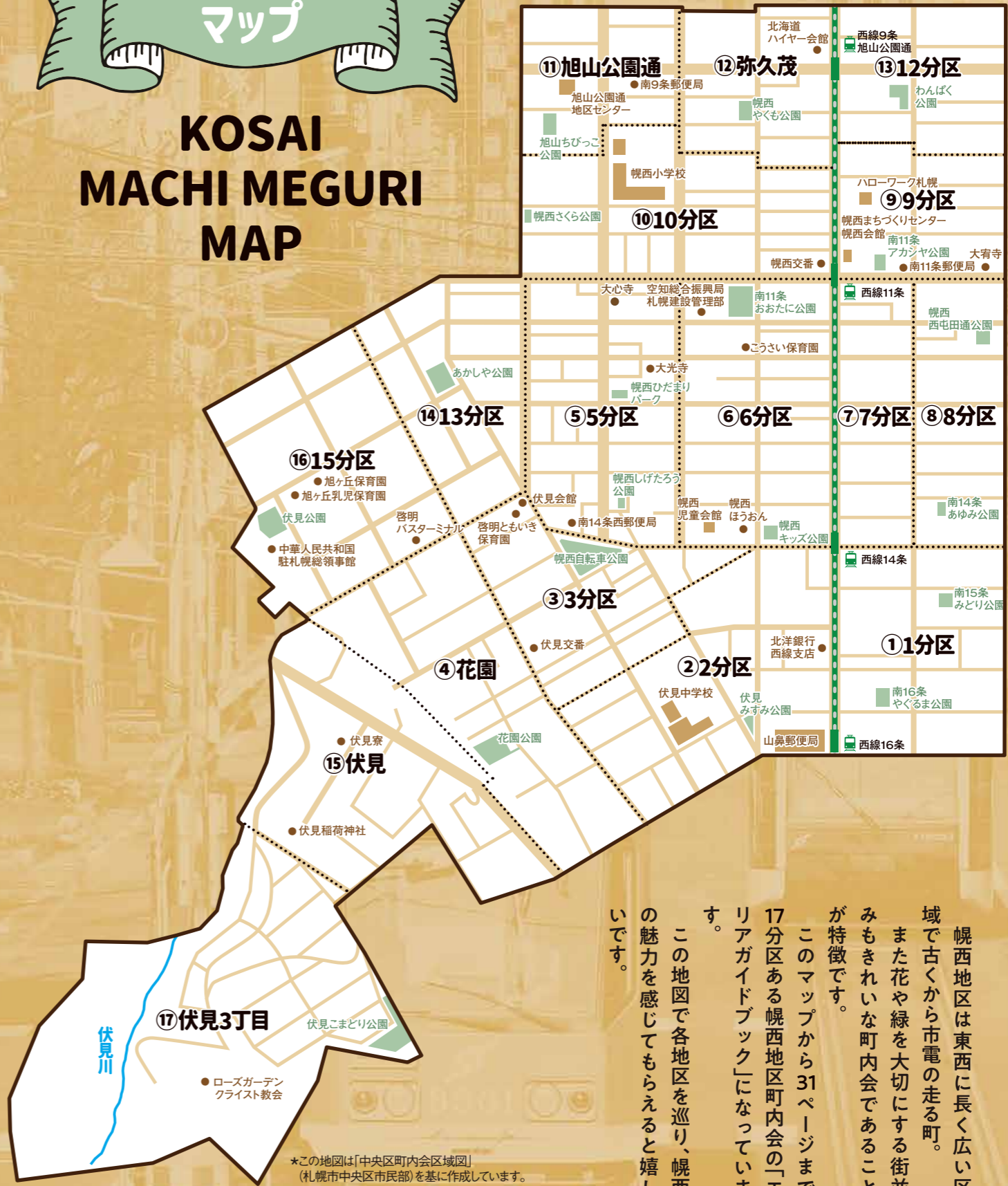
50年前の会員数は350世帯、会費は120円でした。雪山づくりや海水浴、子ども盆おどりなど交流行事が頻繁に行われ、今の和やかな町内会づくりの基盤となっています。

●町内会のこれから

私たちの暮らしは現在も変わり続けています。町内会員さんの要望をくみとりながら、これからも安心安全なまちづくりにつながる活動に力を入れていきます。



KOSAI MACHI MEGURI MAP



幌西地区は東西に長く広い区域で古くから市電の走る町。また花や緑を大切にしている街並みもきれいな町内会であることが特徴です。

このマップから31ページまで17分区ある幌西地区町内会の「エリアガイドブック」になっています。

この地図で各地区を巡り、幌西の魅力を感じてもらえると嬉しです。

*この地図は「中央区町内会区域図」(札幌市中央区市民部)を基に作成しています。

第2分区町内会

地図番号②

最寄駅

西線14条
西線16条

TOWN DATA

町内会データ

設立	1972(昭和47)年4月1日
区域	南14条西16条、西15条西17条、西15条西18条
学校区	幌西小、伏見小、伏見中

加入世帯数	681
公園	伏見みすみ

本町内会は幌西連町の最南にあり、山鼻連合町内会に接しています。市電とバス通りに面しながらも静かな住宅街です。

伏見中学校や山鼻郵便局本局、北洋銀行、花園病院などの施設や商店などにも恵まれ、便利で住みやすいまちです。

これからの、住みやすい環境を保ちつつ町内会の支え合いで皆さんの輪が広がって行くことを願っています。

夏まつり(南15西15)
ギャラリー土土&土土カフェ
子どもから大人まで楽しめる夏まつり
笑顔あふれる子どもたちに元気をもらえます。



花苗植え
毎年5月下旬に町内36ヶ所に植えた花壇の花は秋まで花いっぱい咲いています。



ラジオ体操(自転車公園南14西18)
*近隣4町内会での合同開催
夏休みは自転車公園でラジオ体操!コロナ禍では運営係も参加者もマスクを付けて元気に1、2、3!

●町内会のこれまで

創立から50年。7代の会長のもと、役員、住民の皆さんと安心・安全で住みやすいまちづくりに取り組んできました。現在は落ち着いた住宅街ですが、「拓銀もいわ体育館」やボートリンク場「スワローボール」などの大型施設のあるにぎやかなまちでした。



伏見みすみ公園(南17西16)
伏見小6年生のアイデアで作られたかわいい公園です。

ギャラリー土土&土土カフェ(南15西15)
夏まつり会場にご協力いただいているイタリアンのお店。道内作家の個展、グループ展も実施。



●町内会のこれから

安全・安心な地域を維持しつつ、参加しやすく、楽しんでもらえるイベントづくりをしていきたいです。

町内会と事業者さん、行政が助け合える住みやすいコミュニティを目指して。

●町内会の年間行事

- ①夏まつり
 - ②花苗植え(花壇の植栽)
 - ③清掃活動(年3回)
 - ④賀寿祝い贈呈
 - ⑤レクリエーション
 - ⑥防犯・防災パトロール(年2回)
 - ⑦新年の集い
 - ⑧ラジオ体操(4町内会と共催)
 - ⑨子ども盆踊り大会(9町内会と共催)
- *その他連町の行事に参加

●町内会の賛助会員

- ・北洋銀行(西線支店)
- ・花園病院
- ・山鼻郵便局本局・セイコーマート南16条店
- ・セブンイレブン南14条店・BOOKOFF
- ・ふしみの森めぐみ保育園

会長からひとこと

町内会活動に参加される方は増えていますが、活動のお手伝いや役員のなり手はなかなか…。町内会のお手伝いから、ボランティア活動を一緒に楽しんでみませんか？

第3分区町内会

地図番号③

最寄駅

西線14条
西線16条

TOWN DATA

町内会データ

設立	1972(昭和47)年4月1日
区域	南14条西16条、18丁目、南15条西17条、18丁目
学校区	幌西小、伏見中

加入世帯数	246
公園	自転車

第3分区町内会は自転車公園と伏見会館でおなじみです。

1960(昭和35)年までは伏見町と呼ばれていましたが、同年区画整理事業により条丁目が整備され、今に至ります。

当時は三角屋根の木造建築の一戸建てが主流でしたが、今も老人福祉施設や保育園が集中している区域を除き、低層住宅の多い静かでこじんまりとしたまちです。

伏見会館は3代目(南14西18)

集う場所があり、親睦が深まるのはとても大切なこと。町の宝の一つです。



初代は「農事組合」の建物。習い事などで活用



2代目は70年代に改築。子育て世代と高齢者の交流が進みました。



3代目は2014(平成26)年、現在地に移転・新築。地域交流の場として大いに活用されています。

●町内会のむかし

設立当時は町内会への関心が薄く、会長が5部体制のうち3部を兼務するような苦勞がありました。

●町内会のいま

独自の事業としては花苗植え、賀寿祝い、日帰り旅行等があります。

戸建住宅の世帯はほとんど町内会に加入していますが、10部体制の中で役員数の不足と高齢化が悩み。新しく冬道対策とホームページ作成にも取り組んでいます。

●町内会のみらい

「住みよいまちの宝ものは、住んでいる皆さんと伏見会館です」「ここに住んでいて幸せです」と、まちの生き字引と称される高齢女性がほほ笑んで話してくださいませ。

確かに人は宝ものです。今後は集う場所が増え、若年者と高齢者との交流の輪が広がり、地域の皆さんが互いに支えあいながら、より親しみのある町内会となることを目指していきましょう。

幌西自転車公園と「雪中運動会」、樹名板(南14西18)

自転車公園は防火花火のタペ、ラジオ体操、子ども盆踊りなどで大活躍。日頃の花壇の手入れや清掃は町内会のボランティアが実施しています。



今は思い出となった第1回雪中運動会の様子。滑って転んで楽しかった!

自転車公園開設は交通局職員住宅跡地での町内会主催雪中運動会が契機になりました。



1980(昭和56)年の完成記念式典の様子。当時は珍しい、住民意見を基につくられた公園で、式典も盛大に行われました。



「自分達の樹名板」が公園の魅力の一つ。町内会と児童会館の子どもたち、中央区土木センターの連携により完成。

町内会の行事

子ども盆踊り
自転車公園で太鼓叩いて子ども盆踊り!



日帰り旅行
食べて、温泉に入って、いっそう親しく。

町内会が団結した貴重な経験



2015(平成27)年の「市職員住宅跡地の高層マンション建設の再考を求める運動」は、約1000筆の署名が集まりました。熱心な住民の声が反映され、老人福祉施設が建設されました。その後も隣接地に老人福祉施設や病院などが増え、高齢者にとって、より安心できるまちになりました。



3代目は2014(平成26)年、現在地に移転・新築。地域交流の場として大いに活用されています。

花園町内会

地図番号④

最寄駅
西線14条
西線16条

TOWN DATA

町内会データ

学校区	区域	設立
幌西小、伏見小、伏見中	南14条西19丁目、南17条西18丁目	1972(昭和47)年4月20日

加入世帯数 505
公園 花園

花園町内会は、西野真駒内線環状通の山側、伏見稲荷神社の参道である階段下に広がる、高層マンションの多いまちです。

本町内会は第4分区町内会として設立。2000(平成12)年より花園町内会と名称を変更し、今に至ります。住んでいる人以外にも、たくさんの店舗や施設が町内会に加入し、協力をしてくれています。

隣接している町内会も含めて、環状通沿いのお店がここ数年でどんどん増えており、とても便利なまちです。



南16西18付近

環状通沿いのようす
いろいろな店舗や施設が増えて、便利なまちになっています。町内会に協賛いただく事業者さんも増えました。



南14西18付近



伏見稲荷神社への参道(南15西19)
迫力のある石段です。たくさんの人が歩いた場所が削られて、丸みを帯びています。幌西の歴史やこのまちに住んできた方々の想いを感じ取れるような場所です。



花園公園(南16西19)
芝生や砂地の広場、コンビネーション遊具やターザンロープがあります。樹木も緑も豊かな憩いの公園。砂場にはタコちゃんがいます。

- 花園町内会 協賛企業のご紹介 (50音順)
- 青山商事(株)札幌旭丘店
- 石上車輛(株)伏見店
- (株)エンパイアクリーニング西支店
- 啓明旭山薬局
- 札幌トヨペット(株)マックスパーク伏見
- 札幌日産自動車(株)くるまるく伏見
- シティホーム山鼻3号館
- セブンイレブン札幌啓明店
- とんかつの勝徳
- ノースアニマルクリニック
- 伏見整形外科医院
- プリマベエラ(結婚式衣装)
- フローラル創(フラワーショップ)
- ミックガーデン(美容院)
- ライフケアー
- 楽ゆう館伏見

第5分区町内会

地図番号⑤

最寄駅
西線11条
西線14条

TOWN DATA

町内会データ

学校区	区域	設立
幌西小、伏見中	南11条西14条、西17条西18丁目	1972(昭和47)年4月

加入世帯数 485
公園 ひだまりパーク
しげたろう

第5分区は、市電、啓明バスターミナルに近く、戸建住宅世帯が8割以上を占める住宅地です。冬期間の除排雪は年1回のパトナシップ排雪と隣近所が協力して除排雪を行い、ごみステーションの共同管理などで、コミュニティを深めています。



商店街(南11西17)
青果店、居酒屋、米店、通所介護施設、ヘアサロンが並ぶ町内の商店街。多くの住民が利用しています。



しげたろう公園と旧・竜雲園(南14西17)
林業会社(現・りんゆう観光)経営者植田繁太郎氏の自宅・社員寮・庭園「竜雲園」の半分が住宅地と「しげたろう公園」になりました。



ひだまりパーク(南12西17)
夏祭り会場でおなじみ。町内有志が手入れした花壇、サクラ、藤棚が目印。子どもから高齢者まで憩い・交流する場です。



旧・宮本邸(南13西17/現在は解体)
1932(昭和7)年に施工された和洋折衷なデザインが特徴の木造2階建て。2階に和風の部屋とドイツ壁の洋間が並んでいるのが特徴でした。(写真出展:札幌建築鑑賞会)



旧・栗谷川邸(南12西17/現在は解体)
1932(昭和7)年施工。同年のレイクプラシッド冬季オリンピック、ノルディック代表選手だった栗谷川平五郎氏の住宅。まるで最近建てられたかのようなデザインのお宅でした。(写真出展:札幌建築鑑賞会)

- 町内会のむかし
II庭園・レトロな洋風建物
古くから戸建住宅が並び、庭園「竜雲園」や昭和初期の洋風住宅「旧宮本邸」「旧栗谷川邸」などのある風情ある街並みでした。町内にスーパー「フードセンター」や11条、14条通りには商店街があり、にぎやかでした。
- 町内会のいまII閑静な住宅地
世代が変わり、住宅が新築され、子育て世代と古くからの世代が混在しています。
メイン通りには高層住宅もあり近年の新築住宅は戸建住宅が多く、閑静な住宅地が保たれています。
- 町内会のみらい
IISNSで「コミュニティ」
SNSを使い、住民間の情報伝達を緊密・敏速に行うために、電子回覧板を導入しました。これからは、大多数の方に登録していただき、イベントや防災・防犯情報の伝達と共に街路灯、ごみステーション、街路花壇など住環境整備に活用したいです。



幌西第5分区町内会
Facebookページ

第6分区町内会

地図番号⑥

最寄駅

西線11条
西線14条

TOWN DATA

町内会データ

設立
区域
学校区

1972(昭和47)年1月1日
南11～14条、西15～16丁目
幌西小、伏見中

加入世帯数 486
公園 おおたにキッズ

本町内会は、東側が市電通りに面し、戸建住宅とマンションが共存する住宅地です。古くからの住民に加え、子育て世代も増えています。

市電通りは古くは「西線市場」を中心に賑わいましたが様々な変遷の後、2022(令和4年)末からの沿線工事により更に様変わりしつつあります

町内には老舗クリーニング店やドラッグストア、商店の他、児童会館、保育園、福祉施設、内科医院などがあり、便利で住みやすい街となっています。藻岩山を背景に花と緑の溢れた静かな住環境が営まれています。



町内から見る藻岩山の稜線
町内のいたるところに山の姿があり、一年を通して見守られているように感じます。



防犯・防災パトロール
夏・歳末の2回、拍子木を鳴らし「火の用心！火の用心！火の用心！」と大声で町内を回り、安全確認を呼びかけます。

これからのまちづくり
「この町内に古くから住んでいることを誇りに思う」とお話ししてくださる住民の方の気持ちに配慮するため、より多くの方に町内会活動に楽しんで参画していただき、子どもから高齢者まで安心して暮らせるまちづくりをしていきたいです。

●町内会の歴史

大橋正澄、高橋清吉、後藤勇、藤井清、西孝、後藤聡、原寿子の7代の会長のもと、多くの役員が町内会を支え、まちづくりに取り組んで来られました。

町内会発足2年目に開設されたおおたに公園を、維持・清掃活動を続け大切に守っています。

●町内会のいま

会員の皆様の参加協力を得ながら、町内美化に努め、年間行事を行い、連町行事に参加し、安心・安全の住みよいまちづくりに努めています。

●年間行事

新入学祝品贈呈、花苗植え、町内清掃、ラジオ体操(4町内会で共催)、子ども盆踊り大会(9町内会で共催)、米寿お祝い、秋の公園落ち葉拾い など

●町内会会員事業所(50音順)

- あいある西線・緑エンバイアー
- カフェおくのほう・こうさい保育園
- 幌西ほうおん・サンテック(株)北海道支社
- (有)畑野電気・ヒーティングマテリアル(株)
- (有)福田商事・社福睦会・ヤハラ消防設備株



桜満開のおおたに公園(南11西16)
町内の春の象徴です。あずまややベンチに腰掛けのんびりお花見を楽しみます。



11月おおたに公園の落ち葉拾い
親子参加も含め、毎年大勢集まり、交流の場ともなります。



春の花苗植え
毎年5月に行います。町内23カ所の花壇は秋まで花で溢れます。



H邸のパラ園
元札幌バラの会会員のご主人に大切に育てられた美しい薔薇が10月位まで見られます。町内には良く手入れされた庭が数多くあり、目を楽ませてください。



元祖中国風居酒屋へんみ(南14西15)
創業35年。そのボリュームと味で根強い人気があります。



札幌こんぶ屋(南12西15)
幌西に開店38年。手作りの昆布巻きが人気でしたが、令和4年に閉店されました。現在はえりも町にある美術館で段ボールアート作家として活躍中です。

第7分区町内会

地図番号⑦

最寄駅

西線11条
西線14条

TOWN DATA

町内会データ

設立
区域
学校区

1972(昭和47)年1月
南11～14条西14丁目
幌西小、伏見中

加入世帯数 458

第7分区町内会は、市電西線沿いに接するまちです。

以前は企業の社宅が多く、西線市場など多くの商店が集まっていました。

このため、今も昔ながらの商店や集合住宅が多く残され、個性的な飲食店があります。



旧・大成湯(南12西14)
現在BENTOSのあるところは、昔「大成湯」という銭湯でした。三角屋根の一軒家を延長したつくりになっていました。子どもたちは湯上りに飴玉をもらえたそうです。
(写真出典/ブログ「端萬記アーカイブ」IIIムラ社会に個としての発信を封じられた者ここに眠る)

電車通りには「中川米穀店」惣菜・オードブル・お弁当等を扱う「竹内商店」、数年前まで細川理容院もありました。11条通りには「さとう写真室」(ご主人は趣味でアコーディオンを弾きます)隣にかわさき食堂(コスパが良い食堂)、昨年まで金井美容室があり、その東側には「山鼻動物病院」があります。いずれの店も、地元の皆さんがよく利用しています。



第7分区の行事～パークゴルフ会
コロナウィルスが流行する前は、年1回日帰り温泉に行き町内の親睦を深めていました。温泉に浸かって大部屋でみんなと食事、現地の農産物が当たるピンゴ大会、パークゴルフ、バス車内のお菓子景品付きクイズ大会等、和やかに楽しみました。

●町内会のむかし

初代の連町会長(26年間頑張ってくださった)石林清さんを中心に、2代目会長の細川昭市さん等の地域の先達たちがまちづくり活動の基盤をつくってくれました。今も昔も商店の多い地域なので地域のつながりは強く、明るいまちです。

●町内会のいま

「みんなで仲良くしよう、助け合いをしよう」を合言葉に、明るい町内会づくりを昔から目指しています。役員も高齢化してきているので、若い考えを取り込み意見を率直に話し合っ、みんなで町内会をより良くしていこうと模索中です。

●町内会のこれから

これからも老若男女、子ども達の住みやすい地域環境を続けられるよう、町内会員の助け合いで町内会の輪が広がっていくよう、安全安心なまちづくりを醸成していきたいと願っています。

第8分区町内会

地図番号⑧

最寄駅

西線11条
西線14条

TOWN DATA

町内会データ

設立	1969(昭和44)年1月1日	加入世帯数	472
区域	南11条西13丁目	公園	西屯田通 あゆみ
学校区	幌西小伏見中		

第8分区町内会は、西屯田通りに面したまち。隣町にあった西屯田通商店街の思い出も色濃く、下町風情の残るまちです。

第8分区は幌西地区連町に先駆け、1969(昭和44)年に自治会を立ち上げ、1998(平成10)年には自主防災組織を編成し、災害時の自主防災計画を策定し、活動班を設け、積極的な活動を実践しています。



南14条あゆみ公園清掃ボランティア活動(南14西13)



ふれあいクラブ交流会(あゆみ公園にて 南14西13)

近所付き合いが当たり前だった8分区も時が流れ、気が付けば交流の機会が少なくなりました。しかし幸いなことに8分区にはあゆみ公園、西屯田通公園と2つの公園があり、清掃ボランティア活動を通して、1998(平成10)年に町内会の皆さんとの交流を目的とした「ふれあいクラブ」ができました。

春、あゆみ公園にある桜の木の下に集い、花より団子の楽しい親睦の輪が広がる交流の場となっています。

夏、西屯田公園では子どもたちを中心にラジオ体操、スイカ割り、花火



西屯田通公園スイカ割り(南12西13)



クリスマス親子ケーキ作り(幌西会館 南11西14)

大会と夏の思い出づくりを子どもたちと一緒に楽しんでいます。

冬、クリスマスには親子そろってのケーキ作りが恒例となっています。

ふれあいクラブも高齢化が進みまじつかり渡していかななくてはなりません。

目に見えぬ交流の力は、8分区の将来を支えるものになるでしょう。

たとえば、どんな災害が起ころうとも互いに助け合える8分区町内会であってほしいと、未来への夢は広がっています。

第9分区町内会

地図番号⑨

最寄駅

西線11条
西線9条
旭山公園通

TOWN DATA

町内会データ

設立	1972(昭和47)年4月1日	加入世帯数	530
区域	南10条西13条西14丁目	公園	アカシヤ
学校区	幌西小伏見中		

第9分区町内会には、幌西まちづくりセンター(幌西会館)とハローワーク札幌があります。

昔から行政機関や官舎、教育機関、事業所が多い、旧・商店街と市電に面した多様な魅力のあるまちです。

ハローワーク札幌とシンジユの巨木(南10西14)この場所は1948(昭和23)~1970(昭和45)年まで、結核対策のための「道立幌西療養所」でした。1988(昭和63)年に職業安定所が建てられ現在に至ります。シンジユの巨木は幌西療養所の面影を伝えています。



南11条通りの花壇

毎年春に町内で花苗をつくり、花植えを行っています。毎朝早くから水をあげてくださる方がいらして、ありがたいです。



南11条アカシヤ公園(南11西14)

1952(昭和27)年、中央消防署幌西出張所が開設されました。望楼(火の見櫓)があり地域の消防活動に貢献していましたが、出張所は1980(昭和55)年、現在の南11西21に移転。1988(昭和63)年にアカシヤ公園が設置されました。(写真:札幌市公文書館所蔵)



アカシヤ子ども会9分区には、アカシヤ子ども会の活動が長く続き、現在も多くの子どもたちと保護者の方々と楽しく活動しています。今後も楽しみながら「子ども会」の存在は9分区の宝ものです。

●9分区「ほれ話

シヨーン・コネリーの吹き替えや「キングダムハーツ」の賢者アンセム役で有名な、声優の故若山弦蔵さん。樺太から引き揚げ後、9分区に幌西小学校、札幌南校のご出身です。

札幌南11条郵便局(南11西14)幌西を含む山鼻エリアで最も早く開設された歴史ある郵便局です。開設は1933(昭和8)年9月のことでした。現在は2代目の建物です。



第10分区町内会

地図番号⑩

最寄駅

西線11条
西線9条
旭山公園通

TOWN DATA

町内会データ

設立	区域	学校区
1972(昭和47)年4月1日	南10～南11条、西15～18丁目	幌西小、伏見中

加入世帯数	公園
663	さくら

2022(令和4年)に当町内会も連合町内会同様に、町内会創立50年を迎えました。エリアにある幌西小学校はあと3年で100周年を迎えます。これまで多くの皆さんが、子どもの通学の見守りをし「子どもと暮らす人の安心をつむぐまち」として躍動しています。



幌西小学校の校歌板



幌西小学校のキルト

『ポプラとともにぼくらは育つ』(南10西17)



幌西小学校の校歌ではポプラが歌われていますが、幌西地区でポプラを見かけることは少なくなりました。幌西小の図書館には西門前にあったポプラの切り株が残されています。



さくら公園(南10西18)
小さいけれどスプリング遊具。イモムシちゃんのデザインがおしゃれ。落ち着いた雰囲気の公園です。



南警察署 幌西交番(南11西15)
以前は第9分区幌西会館の場所に「モダン交番」と呼ばれた幌西警察官派出所があったものが、向かいの10分区に移転。今も昔も安全安心心強いまちづくりを支えて下さっています。



ショコラティエ マサール (南11西18)

初代は店名の由来となる勝さん。2代目の健さんは「1988(昭和63)年年第10分区に誕生した当店は「北海道の素材と世界中から選りすぐったカカオで作る最高のショコラ」がモットー。地域の皆さんの支えで34周年を迎え、今後もショコラで感動をお伝えできるよう精進していきます」とお話ししてくれました。



第10分区町内会には、幌西小学校や幌西交番があるまちです。当町内会のエリアは広く、マンションが多いこともあり、世帯数も連町内で3番目に多いこともあり、役員さんが頑張ってくれています。まちの中に幌西小学校があることから、『みらいある子どもと住人の「笑顔」と「安心」をつむぐまち』を理念とし、子どもたちや住人が安心して暮らせる地域を目指し尽力してきました。今後は、デジタル化に挑み、町内会のホームページを開設し、より皆様に情報を提供してまいります。



寿司のなか田(南11西18)
地域に愛される老舗寿司店。ご主人夫妻の優しさが寿司の美味さとともに身に染みる名店です。夜のお寿司も乙ですが、ランチ営業もお手頃価格でもあり大人気です。



第10分区町内会ウェブサイト

旭山公園通町内会

地図番号⑪

最寄駅

西線9条
旭山公園通

TOWN DATA

町内会データ

設立	区域	学校区
1972(昭和47)年4月1日	南8～9条、西17～18丁目	幌西小、啓明中、伏見中

加入世帯数	公園
417	旭山ちびっこ

旭山公園通町内会は、幌西連町の北西の端にあり、菊水旭山公園通に面しています。

旭山公園通の沿道には旭山公園通地区センター、南九条郵便局、国の官舎など事務所や店舗、関連施設が多いことが特徴です。

●町内会の成り立ち

戦後「弥久茂会(街灯組合)」を組織、昭和30年代末「南九条通振興会」発足、幌西連町発足と同時期に弥久茂町内会と分かれ「旭山通第一町内会」を設立、南九条通の「旭山公園通」改称に合わせ1973(昭和48)年から現在に至ります。



旭山ちびっこ公園(南9西18)
全面砂地で整備され、モミジやナナカマドが植えられています。夏にはラジオ体操の会場となっています。



旭山公園通地区センター(南9西18)
地域の集いと学びを支える場所。蔵書3万冊の図書館、体育館や茶室にも使える和室などがあります。中庭はイベントに活用されています。壁のアートが目印。前身は地域住民の働きかけでつくられた「旭山記念公園会館」でした。

町内会のスローガン
安全で、明るく
環境にやさしい
美しい笑顔の絶えない
町内会
これを実現すべく
活動しています！



セレキア(南9西18)
東京から札幌に移転した本格イタリア郷土料理のお店。現在コロナ禍の影響から一般営業再開に向け準備中！

●町内会のいま

私たちは、旭山公園通地区センターを中心に活動を行っています。毎月1回「旭山公園通町内会だより」を発行して回覧資料に添付しています。

町内会の主な行事として、春の街路樹花壇の苗植えと水やり、草取り、町内会一斉清掃。秋は落ち葉、枯れ枝の後始末など、町内会全体で取り組んでいます。他にも、ちびっこ公園でのジンギスカンパーティーやバス旅行があります。幌西旭山クラブは人生の先輩諸兄の集まりで、地区センターを会場に、誕生会、食事会、お話し会、麻雀の会等を行っています。

旭山ポプラ子ども会は、春の新年生の歓迎会、夏休みのラジオ体操3月は6年生のお別れ会を青少年部が中心となって開催しています。

●町内会のみらい

積極的に町内会活動に関わる人たちが集う場にしていきたいです。

弥久茂町内会

地図番号⑫

最寄駅

西線9条
旭山公園通

TOWN DATA

町内会
データ

設立
区域
校区

1971(昭和46)年11月
南8～9条西15～16丁目
幌西小、啓明中、伏見中

加入世帯数
公園
345
やくも

弥久茂町内会は、菊水旭山通に面した町内会です。

設立は連町に先立ち51年前。当時は「幌西旭山第二町内会」といいましたが、連町設立に合わせて改称しました。弥久茂の由来は

「弥久茂に久しく繁茂してほしい」という願いが込められています。

「久しく」→「末永く」

「茂」→「繁茂」 「盛んに茂る(繁栄)」



春の花植え(南9西15.16通り沿い)
毎年、町内各班の子どもから大人まで、皆さん早朝からワイワイと楽しく花植えに参加しています。



やくも公園(南9西16)
5月～10月までは町内15の班による輪番制で清掃を行い、憩いの場を支え見守っています。毎年5月ごろには藤棚も見事に咲き誇ります。



夜間パトロール
最近では親子、友達同士の参加で「火の用心!戸締り用心、火の用心!」と、新しい世代の防犯・防災活動が芽生えています。



盆踊り(ハイヤー会館 南8西15)
コロナ禍で3年ほど延期されていますが、子ども太鼓の参加者は4日間びっしりと練習に励み、来る盆踊りの日に備えています。

- 一、福祉のまちづくり推進
高齢者の暮らしを互いに
そっと支え合うまちづくり
- 二、明るく美しいまちづくり
花いっぱい運動と、輪番制の
やくも公園巡視、清掃活動
- 三、自主防災の推進と体制整備
体験型防災訓練等を積極的に
実施
- 四、地域で支える子育て
交流イベントを中心に支援
を実施

本町内会では「住みよいまちづくり」を目指して、4つの基本原則を立てて活動しています。

第12分区町内会

地図番号⑬

最寄駅

西線9条
旭山公園通

TOWN DATA

町内会
データ

設立
区域
校区

1972(昭和47)年4月1日
南8～9条西13～15丁目
幌西小、啓明中、伏見中

加入世帯数
公園
477
わんぱく

第12分区町内会は、幌西連町の一番北東にあります。西地区と曙地区連合町内会に接し、西屯田通、菊水旭山公園通に面しています。ロッテ商事の建物がランドマークになっています。

以前は西屯田通り商店街があり、にぎやかな下町風情あふれるまちでした。現在も人情味豊かな気風が受け継がれています。



交通安全指導員のお二人
←千葉さん(右)と加藤さん(左)はこの50年間、子どもたちを見守ってくれています。小学生のみんな、おじさんたちを見かけたら手を振ってね!



春の花植え(5月)



畑山 喜弘さん
町内会や地域福祉の取り組みに長年活躍されました。昨年は川柳かるたを制作。新聞にも取り上げられるなど文化面でも大活躍!



ラジオ体操(ハイヤー会館 南8西15)
進藤 忠明さん
ハイヤー会館前にて長年にわたりラジオ体操の指導者として子どもたちを見守っています。また町内会会長としてもご活躍されていました。



わんぱく公園(南9西14)
(社福)あむの「なんきゅう(南9)夏祭り」が開催されています。



マキヤ・ドライ(南8西14)
1954(昭和29)年開業。創業68年の老舗。犬の置物がおなじみ!染み抜きはお任せあれ。



盆踊り(ハイヤー会館 南8西15)
9町内会合同で開催。(一社)北海道ハイヤー協会さんのご厚意で、ハイヤー会館駐車場毎年実施しています。

●町内会のむかし

昭和20年代には加藤牛舎のサイロや山田養鶏場などがある近郊農業地域でした。

昭和30～40年代には商店が増え、西線9条電停前はとてにぎやかで気あふれるまちでした。

●町内会のいま

1972(昭和47)年の町内会設立当初から、交通安全に力を入れており、2名の交通安全指導員が町内で活躍中。1987(昭和62)年度には北海道善行賞を鈴木実さんが授与されました。

●町内会のこれから

これからも、子どもが地域の皆さんに見守られ、安心して、成長でき、高齢者の皆さんに親切なまちにしていきたいです。

春は花植えで
きれいな街並み作り。
夏はハイヤー会館で
ラジオ体操、盆踊り。
秋には日帰り旅行。
親睦を深める
活動を行っています。



第13分区町内会

地図番号⑭

最寄駅

西線11条
西線14条

TOWN DATA

町内会データ

設立	1972(昭和47)年5月
区域	南11~13条、西20~21丁目
学校区	幌西小、緑丘小、啓明中

加入世帯数	632
公園	あかしや

第13分区町内会は、幌西連町の北西にあり、南円山地区と接し、西野真駒内環状線に面しています。

まちの西側は伏見サンタウンなどの大規模マンションが多く、東側は戸建て住宅や病院・施設等が多いことが特徴のまちです。



あかしや公園(南12西21)
町の中心にあり、大きな樹木に囲まれた公園です。草原の築山に囲まれており、思い切り遊ぶことも、寛ぐこともできます。築山におぼけちゃん(?)はいつもみんなの人気者です。

伏見サンタウン(南13西21)
整備された芝生で囲まれた、5棟のマンション群が点在している姿は、迫力のある街並みを創りだしています。



シエスガヤ(南13西21)
1957(昭和32年)建造の古民家を活かした本格フレンチレストランです。



環状通沿いのマンションと店舗(南12西21)
マンションの周辺には生活利便施設、店舗も多く、暮らしやすいまちです。

●町内会のむかし

本町内会は、大正時代から戦後まで農作と開墾の地区でした。戦後住宅が増え、企業の社宅や官舎も多く、転出入の多いまちでした。

●町内会のいま

時代の変化に伴い、社宅等の大半が、民間のマンションに建て替えられ、現在の西側の街並みを形成するようになりました。

まちの東側は戸建住宅が多く、病院や商店、介護施設等に恵まれています。多様な住まい方のある、明るく安全なまちです。

●町内会のこれから

あかしや公園を中心に、多世代の住民が、来訪者が、四季折々に集い、憩える場を増やしていきたいです。

バス旅行やパークゴルフ、新年会などの行事を「回覧板」でご案内しています。若い方々にも花植えなどから気軽に参加してもらえたらうれしいです。

伏見町内会

地図番号⑮

最寄駅

西線14条
西線16条

TOWN DATA

町内会データ

設立	1974(昭和49)年4月1日
区域	伏見1、2、4丁目
学校区	伏見小、緑丘小、啓明中・伏見中・山鼻中(小・中)共に一部が指定変更区域

加入世帯数 203

●町内会のいま

現在は通り沿いにマンションが立ち並んでいますが、藻岩山麓通りの南側は古くからの戸建住宅の多い地域でした。畑だった土地を宅地にする際、様々な形の区画ができ、現在では古い町並みや路地のある景観が残りました。一方で近所同士協力しあって、住みよいまちづくりをしています。

伏見に1967(昭和42)年から55年間住んでいる方に、伏見にきた頃の事をお聞きしました。
「当時は家が2~3軒しかなくて畑ばかりだった。『藻岩山麓通りが開通していない頃は、生活道路として、神社の階段を毎日上り下りしていました。』とお話されていました。
また、『幌西史誌』には山麓通りの工事と同時に上水道の工事進められたと書かれています。

●町内会のむかし

伏見町内会は1907(明治40)年に遷宮された伏見稲荷神社が起点となり、その後、入植者の開墾により畑が広がる地域でした。

1971(昭和46)年冬季五輪開催の折に藻岩山麓通りが開通し、利便性が高まり、住宅街へと変貌しました。

またこの40年間で建て替えなどもあって街並みが少しずつ変化しています。



伏見稲荷神社(伏見2丁目)
27基の鳥居をすぎると、本殿が見えてきます。



参道から下を望み27基の赤い鳥居を眺める。

山が見える伏見の景

伏見地区から見える円山、手稲山をご紹介します。手稲山は何回か雪が降ったあとで、頂上に雪が残っています。



伏見から見える円山二景

いろいろな町内会からも円山は見られると思いますが、伏見から坂を上り下りするときにはこのように見えます。



雪を頂く手稲山



伏見は山ですので、キツネやカラスも多いことから、ごみステーションの管理に力を入れました。毎年2カ所ずつ金属製に替え、2022(令和4)年の春で全て交換できました。
また街路灯はこのコロナ禍の2年間でLEDに替えることができました。

第15分区町内会

地図番号⑬

最寄駅
西線14条

TOWN DATA

町内会データ

設立	1972(昭和47)年4月
区域	南11～13条西22～23丁目
校区	緑丘小、啓明中

加入世帯数	1404
公園	伏見

日々の暮らしや地域を見渡したとき、子どもの見守りや高齢者支援、交通安全、防犯、災害対策、公園や道路の環境美化整備からごみなどの環境問題まで、色々な課題が存在しています。同じ地域に住む人々が協力し合ってこれらの課題に対応し、地域住民の思いの実現に向けて、様々なイベントや交流を通して地域ぐるみの関係を築いていく、その役割を担っているのが町内会です。



春の花植え(5月)
毎年春に実施する花植え活動には、小学生から大人まで多くの方が参加し、花苗を桜並木道路などの町内道路の植樹帯と植樹マスに植えます。



行事・イベントのチラシ
地域の皆さんの取り組みを盛り上げる、わかりやすく、きれいだと評判のチラシ。2020(令和2)年からの3年間間はコロナ禍で中心になることが多かったのが残念。



第15分区町内会ホームページ
幌西連町の皆さんがほめてくださる、自慢のホームページ。2014(平成26)年から9年間継続しています。 <https://ksd15.jp/>



日帰りバス旅行(親睦イベント)
年に数回行われるバス旅行は、町内の方々と親睦を深める目的で開催されています。夏は登山や博物館見学、秋は果樹園、冬は温泉など、みんなで楽しめるイベントづくりを心掛けています。



夏休みラジオ体操(8月)
毎朝、町内の伏見公園で開催されているラジオ体操。夏休みには、子どもから大人までたくさんの人が参加します。



防犯部と有志による防犯パトロール
パトロール隊員はボランティアを含め現在20名、5人1組の4班に分けて、隔週火曜日と木曜日に緑ヶ丘小学校周辺を下校時にパトロールしています。

●町内会のいま
伏見公園で毎年開催されるラジオ体操(同好会活動)や、年2回の町内美化活動、子ども盆おどり、バス旅行や親睦会など、様々なイベントを開催し、町内住民とのコミュニケーションを図っています。

●町内会のみらい
住民同士の心が通うまちを目指し、今後も住民とのコミュニケーションを大切にしていきます。
また、安心安全に暮らせるまちづくりのため、登下校時の交通安全パトロールや、夜間の防犯パトロールも継続して実施していきます。



第15分区町内会
ウェブサイト

伏見3丁目町内会

地図番号⑭

最寄駅
西線16条

TOWN DATA

町内会データ

設立	1980(昭和55)年5月
区域	伏見3丁目
校区	伏見小、緑丘小、啓明中、伏見中山鼻中、小・中共に一部が指定変更区域

加入世帯数	190
公園	こまどり

当町内会は、藻岩山の麓に位置しています。個性的な住宅が多く散歩が楽しめるまちです。

宅地分譲される前は旧・地崎工業の地崎宇三郎氏の私有地でした。

1967(昭和42)年3月に当町内会の前進である地崎団地親睦会を設立。宅地造成が進んだ1980(昭和55)年に正式に町内会が結成されました。



伏見こまどり公園(伏見3丁目10)
藻岩山の背景が美しい大きな公園です。7台のスプリング遊具が円陣を組む場所や、介護予防のための健康遊具もあります。



今はなき「地崎バラ園」の絵はがき
このバラ園が現在ローズガーデンクライスト教会となりました。
上の写真は、この絵はがきが納められていた絵はがきケース。おそらく昭和50年代ころのものと思われます。
(写真:旧地崎バラ園支配人 新井田氏 提供)



ローズガーデンクライスト教会(伏見3丁目22)
どなたでも気軽にうかがえる開かれた教会です。幌西地区を初め、札幌市街地が一望できる結婚式も人気。
伏見3丁目町内会員は年4回あるパイプオルガンコンサートに無料で参加できます。
(写真提供:ローズガーデンクライスト教会)



景観を楽しめるカフェ
N43°や宮越屋珈琲など眺めと雰囲気素晴らしいカフェがあります。

伏見3丁目は最も高台にあり、坂道も多いことから、町内会設立当初の役員の方々は、道路や公園の整備などに尽力されました。
電波の状況からテレビ視聴が難しい時期もあり、町内会には「テレビ共同視聴部長」という役員があったほど。当時のご苦労がしのべれます。
藻岩山のおもとなので、リスなどの小動物が顔を出します。一番高いところに行くと、豊平川の花火が見られるのはいいと感じています。
伏見町内会と同様藻岩山風致地区なので、戸建住宅が多く、景観が守られていますし、静かで住みよいまちです。

「幌西の老舗」案内

幌西連町創設の1972(昭和47)年以前から、まちの暮らしを支えてきた「老舗」が幌西にはたくさんあります。その中から直接買物ができるお店を選び、本誌編集委員が取材してきました。長年愛されるお店には、代々続く信念があったり、魅力あふれるオーナーさんがいたり、そんな「モノがたり」がたくさんありました。

お食事処かわさき (第7分区町内会)

豊富なメニューはどれも美味しく、ボリュームたっぷり!

店主の川崎良一さんが小学生の頃に、お母様の花美さんが開いたお食事処。お兄様が2代目、良一さんが3代目と引き継ぐうちにメニューが豊富になりました。特に40年以上前からあるカツカレーはイチオシ。

良一さんいわく「幌西は昔から住みやすいまち。利便性だけでなく空気が良く、心を豊かにしてくれます」。

近年は周辺にマンションが増え、以前は昼食に訪れる会社員が大半だった客層が、夕食に訪れる単身者や、土曜日は家族連れも来てくれます。美味しい食事と店主の温かい人柄が、訪れる人を元気にしてくれる場所です。

📍南11条西14丁目2-27
🕒 昼/11:00~15:00 夜/17:00~20:00
★ラストオーダーは閉店30分前まで
定休日/日曜・祝日
☎ 561-4335



店主の川崎良一さんご夫妻

懐かしき食堂の佇まい
イチオシのカツカレーは味もボリュームも満点!

庄司商店 (第5分区町内会)

旬の果物からお刺身までそろう地元密着の青果店

1954(昭和29)年に旧・西線市場から移転された庄司商店は、地元に着した青果店。現在2代目のご夫妻がお店を守っています。

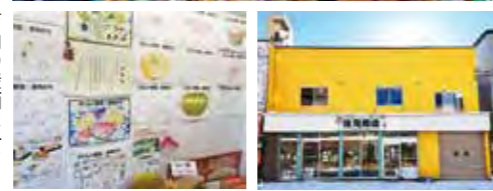
店の壁一面にはお客様や子どもたちの絵、幌西小学校の子どもたちがお店を取材し、つくってくれた壁新聞などが貼られていて、大人から子どもまで地域の皆さんに愛される店であることが伝わってきます。

店頭には季節の野菜や果物をはじめ、目玉賞品として新鮮な卵や干物、マグロの刺身(限定品)などが並ぶ、毎日の食卓の心強い味方です。

📍南11条西17丁目2-26
🕒 月~土曜/10:00~19:00
定休日/日曜・祝日
☎ 561-3551



2代目店主の庄司敏光さんご夫妻



店内の壁面は子どもたちの絵や写真で一杯です

黄色い壁が目印!

にわ 丹羽商店 (第8分区町内会)

懐かしい雰囲気の内でお買い物とおしゃべりを

1957(昭和32)年創業の丹羽商店は、お米、お酒、たばこ、食料・飲料品、野菜、果物、灯油、切手・はがき、おしゃべり、町内の情報、お世辞、笑顔...と幅広い品ぞろえのお店です。

昭和の香りを残す懐かしい店内で、ご主人と対面販売の楽しさを満喫できることが愛され続ける理由の一つ。地元の人が「ちょっと買い物」と言うときは「丹羽さんに行く」が決まり文句になっています。

先代のお父様から2代にわたり、町内会活動も熱心に行ってくださいます。ご夫妻の趣味テニスを楽しみながら、いつまでも長く続いてほしいお店です。

📍南14条西13丁目1-5
🕒 月~土曜/7:30~20:30
定休日/日曜
☎ 561-8254



いろいろな銘柄のお米があります



北海道視覚支援学校の西向かいにあります

中川米穀店 (第7分区町内会)

幌西の食と健康を100年支えるお米屋さん

創業の1929(昭和4)年頃、お店前の市電通りには馬車が走っていました。以来94年、モットーは「身土不二・医食同源」。安全で美味しい「道産米」を販売しています。

おすすめは留萌の稀少米「ゆきさやか」、アレルギー体質の方にも向く北産米「ゆきひかり」です。

「幌西は子どもさんが多く、元気にあいさつしてくれるのが嬉しい。美味しいお米をたくさん食べてくれると農家の皆さんも喜ぶます」と工場長の原口さん。「近年は小売店には厳しい状況もありますが、これからも産地や栽培方法にこだわり安心安全なお米を食卓にお届けしていきます。」と抱負を語られました。

📍南12条西14丁目1-24
🕒 月曜~金曜/8:00~19:00
土曜/8:00~18:00
定休日/日曜・祝日
☎ 561-4718 ☎ 563-6228



米ぬか化粧品や新鮮な平飼卵、野菜なども販売されています



北田営業部長(右)と原口工場長

この店舗は市電沿線の舗道拡張工事のため改装され、新たな店舗で100年目を迎えます

お米は1合から購入できます。お試しできるのが嬉しい

くろだ 畔田商店 TOFU・TOFU (第8分区町内会)

昔ながらのお豆腐にオリジナルスイーツも

1925(大正14)年創業の豆腐店です。藻岩山が蓄える清らかな地下水とオホーツク海産の天然ニガリを使い、昔から変わらない製法で心を込めて作っています。

直売店には北海道産大豆の寄せ豆腐、がんもどき、三角揚げ、こんにゃく、おから、豆乳など、お豆腐屋さんだからこそできる本物の味が勢ぞろい。

2022(令和4)年9月からスイーツのお店「TOFU TOFU(とふ・とふ)」もオープンし、豆乳プリンや豆乳シフォンケーキなども加わりました。工場直営、作りたての味をお楽しみいただけます。

📍南12条西13丁目1-2
[豆腐等]
🕒 月~土曜/9:00~15:30
祝日/9:00~12:00(不定期)
定休日/日曜
[スイーツ]
金・土限定/9:30~15:30
☎ 561-8301 ☎ 531-6688



北海道産大豆と藻岩山が蓄える豊富な地下水を活かし、昔ながらの製法で丁寧に作られています

人と地域をつなぐ場所

幌西地区は昔から事業所の多いまちでした。創業当初から、幌西連町や単町の取り組みに陰日向なく応援してくれている事業所がたくさんあります。その中のごく一部ですが、いただいているご支援の様子をお伝えします。

Place to Connect

施設・団体編

幌西児童会館

札幌市の児童会館はミニ児童会館を含めると札幌市の小学校の数だけあり、地域全体を網羅する児童会館が市政に沿って運営されるのは、全国的にも珍しく、先進的と評されています。

幌西児童会館は1989(昭和64)年設立、子どもたちが遊びを通して学べる場所として、アップデートを続けています。

幌西連町のイベントも幌西児童会館と共催で行っています。

子育てサロン

0歳から就学前までの子どもと保護者の皆さんが同じような仲間やスタッフと交流できる子育てサロンも幌西児童会館で開催しています。

〈子育てサロン開催日時〉
火・木・金9:00~12:00



南14条西16丁目2-15
563-2263



幌西ほうおん

2017(平成29)年に多機能型事業所(生活介護、就労継続支援B型、短期入所)として開設されました。

事業所のある土地は1918(大正7)年に開設した札幌報恩学園発祥の地です。

併設しているカフェすみれや公園は、地域の方々の憩いの場として利用されており、カフェの Pasta が密かに人気です。公園には昭和天皇が御手播きされたカラマツをはじめ、忠犬ポチの石像など歴史を感じられるものも残されています。



南14条西16丁目2-10
520-1007



施設内にあるカフェすみれ



学童保育所 NPO法人 トッポクラブ

1976(昭和51)年、共働き世帯が多くなってきた保護者の「小学生の子どもを安心して預けられる場所を」との思いから、当時は少なかった子どもたちとその父母、そこに勤める指導員がつくる共同学童保育所として誕生。父母の方々が中心となって様々な活動を続けてきました。

現在は学童数30名、指導員数6名。児童と指導員のコミュニケーションがよく、子どもたちにとって「第二の家庭」と呼ばれるほど大切な存在になっています。

南12条西17丁目4-17
551-2715



社会福祉法人 あむ

2009(平成21)年に、障がい福祉サービスだけでなく、地域の方々や団体・機関と協働し、様々な人たちの「出会い」からつながりを編み、「結び目」をつくることを通して、「誰もが大切にされるまちづくり」に寄与するために設立されました。

障がいのある人もない人も、大人も子どもも、尊び合い、学び合い、暮らせる社会を目指しています。

南9条西13丁目1-40
206-6373



7月にわんぱく公園で開催される夏祭り

セイコーマート とら屋 大竹商店

(第6分区町内会)

地域密着型コンビニ、2023年夏に再始動!

株式会社とらや大竹商店の3代目社長である西健一郎さんの母方の祖父大竹正一さんが1931(昭和6)年に第一ホテル内に売店を創業しました。1934(昭和9)年ごろに現住所に移り酒販店を開店、屋号を竹と縁起の良い虎からとり「とらや」とし、その後1960(昭和35)年に現社名となりました。1983(昭和58)年に西さんのお父様が後を継ぎ翌年セイコーマートのフランチャイズに加盟しました。

現社長は大学卒業後テニスのインストラクターとして就職しますが、「いつのまにか家業に戻っていました。地域の方々とお話しながら接客するこの仕事はおもしろいです」とのこと。

市電沿線の舗道拡張工事のため、2023(令和5)年1月、店舗建て替えとなり、同年夏に新店舗がオープン予定です。新店舗では駐車場を広げ「ホットシェフ」も新設します。「今後も地域密着で温かみのあるお店を続けます。オープンをお楽しみに」と話してくださいました。

南12条西15丁目2-1
2023(令和5)年7月中旬頃新装開店予定
561-0640



セイコーマートになる以前1984(昭和59)年の大竹商店



2022(令和4)年のセイコーマートとらや店で。令和5年にはどのように変わるのでしょうか。再始動が楽しみです!

加藤牛乳店

(第12分区町内会)

早朝からの牛乳配達でお客様の健康を守る

創業は昭和初期、当時は牛を飼って牛乳をしぼり、配達をしていました。全盛期は幌西のほとんどの家に牛乳箱があり、ビン牛乳やカッゲンなどが届けられるのが朝の風景でした。

加藤良治さんはお父様の代からの稼業を守り、今も長年のお客様に毎日配達しています。そして加藤さんは長きにわたり、少年野球審判員を続けておられます。「元気でいられるうちはお客様に美味しい牛乳をお届けしたい」と、地域の皆さんの健康を支え続けてくださるお店です。

南8条西14丁目3-10
月曜~土曜/8:00~18:00
定休日/日曜
561-3539



1964(昭和39)年頃のお店の様子



早朝4時半頃から配達にでかける加藤良治さん

理美容室キクチ

(弥久茂町内会)

常連さんにも町内会にも、かけがえのない理美容室

1953(昭和28)年に創業、先代のお父様から娘さんの伊藤明美さんが理容室を、明美さんのお姉様の山木明子さんが美容室を引き継ぎ、地元の常連さんの身だしなみを整えるために、なくてはならない存在です。

お父様は町内会活動にも熱心で、幌西地区連合町内会設立に尽力されました。明美さんのお主人敏英さんも連町防災部長として長年大活躍されていました。

南8条西16丁目3-21
8:00~19:00
定休日/毎週火曜、第2第3月曜
551-9831



店内の様子。スズランのランプが可愛い



くるくる回る昔ながらの3色ボールと縞模様の化粧壁が目印です

企業編

北土建設株式会社

1954(昭和29)年の創業以来、「技術と信頼」をモットーに、道路や橋の建設、河川改修工事などの公共工事を中心として業務に取り組んでこられました。2022(令和4)年に新社屋を建設し、今後もさらなる発展が期待される地元の有力企業です。

社会貢献にも力を注がれ、高齢者のための除雪作業や歩行者用砂箱の設置、道路・公園・幌西小学校グラウンドの清掃美化活動、子どもたちが安心して通学するための「子ども110番の家」活動などに参加しています。安全で安心な暮らしを守るため、長年にわたって多大な貢献をいただいています。



清掃美化活動に参加される社員の皆さん



南10条西14丁目1-18
561-2221



2022年に完成した新社屋

ヤハラ消防設備株式会社

1962(昭和37)年に創業、1969(昭和44)年から現在地で事業を開始し、主に消防設備や防災用品などを販売する防災設備の専門企業です。2020(令和2)年に本社ビルを新築されました。

「危険な災害から大切な生命と財産を守る」をモットーに地域の活動にも積極的に参加されています。

2代目の矢原勝敏社長は「長年お世話になっている幌西の役に立ちたい」と連合町内会の防災訓練時に毎回家庭用防災機器を持参してブースを出展。家庭用警報器の普及に努めるほか、幌西地区13カ所の消火栓周辺の除雪や、生活道路の除排雪を社員総出で実施しています。



防災訓練で防災機器の説明をしていただきました(右が矢原社長)。



南14条西16丁目2-25
551-1551



2020年に完成した新社屋

株式会社エンパイアー札幌西支店

1912(明治45)年に釧路で創業、1932(昭和7)年現在地に最新機器を備えた工場・支店を開設しました。現在幌西地区にはラルズ啓明店と伏見店もあり、古くからお住まいの方に「エンパイアさん」と親しまれています。

6代目の山下譲社長は創業からの「愛と奉仕の精神」を貫き、お客様に喜んでご利用いただける会社を目指してきました。また、社会貢献の一環として札幌市と「見守りに関する協定」を結び、一人暮らしの高齢者宅を中心に、支援を必要とする際の通報体制を整えています。

町内会では長年会員として支援をいただき「パートナーシップ排雪」にも多大な協力をいただいています。



1932年(昭和7年)頃、現在地に建つ札幌工場



昭和7年当時と変わらず現在地に建つ札幌西支店



南11条西15丁目3-5
561-0550

施設・団体編

北海道札幌視覚支援学校

2015(平成27)年、視覚に障がいのある方が通う視覚障がい教育のセンター校として開校しました。

3歳児からの早期教育から高等部専攻科の職業教育までを行い、視覚に障がいのある方が在籍しています。そのほか地域にいらっしゃる見え方に悩みのある方の学習や生活への支援をしています。



南14条西12丁目1-1
561-7107



札幌市中央区
介護予防センター曙・幌西

当センターは札幌市からの委託を受け、幌西地区に居住される概ね65歳以上の方を対象に健康づくりのお手伝いをしています。

幌西会館では月3回、健康に関する講話を中心とした『すこやか倶楽部』、筋トレや脳トレ等を実施している『シルバー健康教室』を開催中。伏見会館などで月1回程度体操教室を開催しています。

一緒に楽しく身体を動かしませんか?参加費は無料です。健康や介護予防に関するご相談も受付しております。どうぞお気軽にお問い合わせ下さい。

自宅でもオンラインを使って体操が出来る『家トレ介護予防教室』も開催中です。



シルバー健康教室の様子



オンライン健康教室開催中



円山西町4丁目3-20
633-6055

札幌市中央区
第3地域包括支援センター

高齢者の方々が住み慣れた地域で安心して生活を続けられるよう、様々な支援を行っています。「介護保険はどんな制度?」「認知症について知りたい」など気軽に相談できます。



南19条西8丁目1-14
205-0537

老人クラブ

老人クラブは60歳以上で自分の意思と自分の足で参加可能な方々の集まりで、「きょうよう」と「きょういく」(今日、用がある。今日、行くところがある)の会です。

過去や肩書きを問わず「今日を楽しく」をモットーに、友愛活動と健康保持、地域活動への参加を目標としています。

幌西長栄会 設立/1966(昭和41)年

会員30名。毎週金曜に幌西まちづくりセンターで体操やカラオケ、麻雀などの活動をするほか、研修旅行なども行っています。

幌西六喜クラブ 設立/1997(平成9)年

第6分区分町内会を中心とした会員54名。毎週木曜に幌西会館で活動するほか5~11月は金曜にパークゴルフ、火曜に南11条おおたに公園の清掃を行っています。

旭山クラブ 設立/2020(令和2)年

前身は、1996(平成8)年に設立された「幌西旭山クラブ」。現在の旭山クラブは2020(令和2)年に設立しました。

旭山公園通町内会を中心とした会員20名。毎月第2・4土曜に旭山公園通地区センターで活動しています。





子どもたちの夢が未来をつくる

幌西児童会館に通う皆さんに今、好きなことと未来の夢を聞きました。幌西連町ではこれからも、子どもたちがまちの皆さんに見守られ、すくすく育ち、夢や学びが広がるような取り組みを検討していきます。

子どもたちをまね、応援するアイデアやご意見をお寄せください

あいりちゃん

お話を考えて、漫画を描くのが好き。漫画家になりたいので大人の人に相談ののってほしいです。

あかりちゃん(1年生)

塗り絵が大好き。算数が得意。将来はアイドルになって、踊ったり歌ったりしたい。

あすみちゃん(2年生)

今からお金を貯めてアイスクリーム屋さんになる。「おいしい」の笑顔がみたい。

こうだいくん(3年生)

「かたき」が楽しい。サッカーを習っているの、プロになりたい。

さきかちゃん(2年生)

読書とサッカーが好き。サッカー選手になりたい。ボールをきれいに蹴れるよう頑張っています。

しゅうまくん(3年生)

道徳が好き。人の気持ちを考えるから。将来の夢はまだ考え中。

しょうまくん(1年生)

折り紙とかいろいろ楽しい。泥棒を逮捕するのがかっこいいので警察官になりたい。

しんじくん(1年生)

読書と跳び箱が好き。空と宇宙が好きなので宇宙飛行士かパイロットになりたい。

たくとくん(3年生)

野球が大好き。日ハムでプロ野球選手になる。ドラフト1位で4番。攻守で活躍する。

てっぺいくん(1年生)

算数が特に楽しい。警察官になって、みんなの平和を守りたい。

はるほちゃん(4年生)

地震や津波のことを調べたい。人の絵をよく描いています。イラストレーターになりたい。

ほんなちゃん(2年生)

お話を作ること、百人一首が好き。警察官になってみんなを助けたい。

ひでとくん(2年生)

図工が好き。新聞紙で家をつかって面白かった。サッカー選手になりたい。

ひまりちゃん(1年生)

わたしも「かたき」大好き。警察官になりたい。悪い人をつかまえていてかっこいい。

ひょうがくん(1年生)

ゲームが好き。人を守るかっこいい消防士になりたい。

むさしくん(1年生)

「かたき」が楽しみ。「かたき」知らない？走るのが大好き。将来は宇宙飛行士になりたい。

ゆなちゃん(3年生)

おとなの塗り絵やダンス、外国語が好き。ダンスの先生になりたい。

ゆりちゃん(1年生)

作文が大好き。家でも書きます。お花屋さんになりたいので、花の名前をもっと覚えたい。

りおちゃん(1年生)

犬のぬいぐるみが大切な友だちです。算数が好き。ペットショップの店員さんが夢。

りょうのすけくん(5年生)

算数の「割合」が好き。小3からハンドボールを習っているの、プロ選手になりたい。

りんたろうくん(1年生)

家族を笑顔にする「家族ニコニコ大作戦」に夢中。パイロットになりたい。

* 令和4年12月取材、学年は当時のものです*

当時はコロナ禍。

「並ぶと密なので、マスクをとらないほうがよいと思います」と教えてくれた立派な皆さんでした！

ご協力ありがとうございました。
みんなの夢がかないますように。



伏見稲荷神社 (伏見町内会)

1884(明治17)年、京都伏見稲荷大社の分霊を南5東1創成川右岸にお祀りしたのが始まり。1896(明治29)年に琴似村十二軒(宮の森)へ遷宮、1906(明治39)年に現在の藻岩山山麓に遷座。地名も伏見と呼ばれるようになりました。遷宮の続いた理由は諸説あり「幌西30年誌」に興味深い一考察あり。ぜひ一読を。現在も子ども相撲大会が開かれるなど地域の集いの場の一つです。



大光寺の鐘楼 (第5分区分内会)

1927(昭和2)年、現地に寺社、鐘楼堂が建立され、深澤山しんたく大光寺となりました。現在の美しい鐘楼堂は2009(平成21)年に建て直されたものです。大晦日には近隣の住民も新年への祈りを込めて除夜の鐘をつくことができます。また、大光寺では毎年8月6日、9日、15日の決まった時刻に平和を願う鐘をついています。

幌西地区は屯田兵入植のころからの歴史が息づいています。特に伏見稲荷神社は「伏見」の名称となるほど大切にされてきました。地域の集いの場としても長く使われてきました。その一部をご紹介します。

歴史とつながる集いの場

緊急電話 相談窓口

- 警察相談専用電話 **#9110**
- 救急安心センター さっぽろ **#7119** (272-7119)
- 子ども医療電話相談 **#8000** (232-1599)
- 消費者ホットライン **188** (いやや・#不要)
- 児童相談所 虐待対応ダイヤル **189** (いちばやく・#不要)

幌西地区の電話早見表

幌西会館(幌西まちづくりセンター) 南11西14	561-3256	札幌方面南警察署 南29西11	552-0110
伏見会館 南14西18	551-1123	南警察署幌西交番 南11西15	561-3520
旭山公園通地区センター 南9西18	520-1700	南警察署伏見交番 南15西18	551-5474
幌西児童会館 南14西16	563-2263	山鼻郵便局 南16西15	551-6176
中央区第3地域包括支援センター 南19西8	205-0537	南9条郵便局 南9西17	551-1991
中央区役所 大通西2丁目9 (R7.2月~南3西11)	231-2400	南11条郵便局 南11西14	551-1994
中央消防署幌西出張所 南11西21	561-2419	南14条西郵便局 南14西18	551-1990

幌西の未来につなげる 50周年記念プロジェクト

2022

(令和4) 年度
幌西の未来につなげるまちづくりビジョン

ワークショップで出された意見などを参考に、より多くの人々がまちづくりに楽しく関わることかけとなるよう、幌西地区での取り組みの目標・未来像をわかり合える「ビジョン」を策定しました。

幌西地区の未来像

さまざまなひとが活躍し、日々の暮らしを楽しむまち・幌西
～つながりを生かしたまちづくりへ～

幌西地区の未来につなげる5つの目標

- 1 さまざまな交流からつながりを育むまちづくり
- 2 情報の発信でつながるまちづくり
- 3 子どもの健やかな成長を支えるまちづくり
- 4 誰もが安全安心・元気に暮らせるまちづくり
- 5 誰もが活躍したくなるまちづくり

「幌西の未来につなげるまちづくりビジョン」は幌西地区連合町内会公式ウェブサイトからもご覧いただけます。

2021

(令和3) 年度
幌西の未来につなげるワークショップ

始まりは幌西に住む・働く約30名の方との「幌西の未来につなげるワークショップ」でした。さまざまな世代が集まり、テーマに基づいて話し合いました。3回の意見交換から参加者が共有できたことは「幌西が大好き」で「時代が変わっても、幌西らしく、住みやすいまちであってほしい」という共通の願いでした。



ワークショップの開催概要

- 第1回 話そう！ 幌西地区の思い出・いま・未来
- 第2回 語ろう！ 50周年から始まる未来につながる取組アイデア
- 第3回 創ろう！ 幌西の未来につながる企画案

2023

(令和5) 年度
これから、取り組んでいきたいこと

これからの幌西地区では町内会やまちづくり活動を、より多くの人と共に楽しめるようにすることが必要です。無理なく・楽しく・やれることからチャレンジしていきます。

チャレンジしていきたいこと

- 公式ウェブサイトの活用
- おしゃべり会やお茶会の継続
- 回覧板とウェブサイトの活用・展開
- 共通の趣味や関心などをテーマにした集い
- 情報サポーターの募集
- たまり場づくり
- 連町広報部の設立
- まちが楽しくなる取り組みへの支援 など

50周年をきっかけに、まちづくり活動をより楽しめるようにすることで未来につなげていくことを目指します。

2021-22

(令和4) 年度
できることから、取り組みました

情報をもっと発信しよう

- 『50周年記念誌(本誌)』の発行
- 公式ウェブサイトの開設

もっと集まって、話そう！

- おしゃべり会
「幌西の未来につなげるワークショップ」をきっかけに、50年誌に関するおしゃべり会を2回実施しました。
- お茶会
旭山記念公園通地区センターの和室にある茶釜を利用し、地区在住のお茶の先生とともに実施。初めて会う方とも一期一会を楽しむことができました。



幌西地区連合町内会
公式ウェブサイト

幌西地区連合町内会50年の歩みに思う

我が連町は多くの先人の情熱と努力により、50年間着実に活動を拡げてまいりました。そのことは、町内会員の皆さまが誇りとして良

いと思っております。50年を節目として、今思うことは、これからの町内会はどうあるべきかということです。

この3年間、コロナ禍により社会全体の活動が停滞いたしました。町内会活動も然りです。50年間継続してきた行事のほとんどを中止せざるを得ませんでした。思いもよらぬ停滞期でした。

ある哲学者の言葉に「ミネルヴァの梟は夕闇に飛び立つ」という言葉があります。誰が言ったかは忘れましたが、私はこの言葉を「ミネルヴァ(知恵の神様)の梟(神様の使い)は停滞期に飛び立ち、我々に知恵を与える」と解釈しています。まさしく町内会においても、この3年間でいろいろなことが起りました。

「幌西夏まつり」は場所も方法

も変えた結果、千人以上の参加があり、盆踊りや運動会も今までのやり方を踏襲しつつ新しい方法を進めようとしております。広報にもうすこし力を入れるため、「連町公式ウェブサイトを開設いたしました。」「お茶会」を開催し、趣味の会を作るきっかけにしました。「ふれあいの集い」には初めて芸人を呼び、楽しみました。

そして何より嬉しかったのは、幌西地区に関わる約30名の方に集まっていただき、幌西地区をテーマにおしゃべりをする会、すなわち「ワークショップ」を3回行い、多くの意見をいただいたことです。ちなみに一番多かった希望は「たまり場が欲しい」でした。井戸端会議は町内会の原点ですね。

まさに停滞期という夕闇に、梟が舞い降りた感がしております。これを機に新たな歩みを始めなければ授かった「知恵」が無駄になってしまいます。

そこで皆さん「理想的な町内会

とは、あるいは街とは？」を考えてみてください。十人十色だと思えます。安心安全な街、若い人たちが住みたいと思う街、子どもたちが生き活きと元気な街、お年寄りに優しい街、若者が生きがいを感じる街、住んで楽しい街、静かでのんびりできる街、便利でにぎやかな街、自然豊かな街、などなど、人それぞれですね。

私が一番大切に思うのは、同じ地域に住んでいる事で生まれる「連帯感」です。程度の差こそあれ、皆さんが何となく感じていると信じております。それが無ければ町内会活動は成り立ちません。うつつから良い、ホワッと仲間意識が漂う街が理想かなと思っております。それさえあれば、明るく楽しい所に集い、暗闇では助け合う「ヒト」とはそういう動物なのです。そしてミネルヴァの梟は、皆さんの心の中に潜んでいるのではないのでしょうか。そんなことを思いながら、51年目、スタートです。



幌西地区連合町内会
会長 土井 清純

デザイン・写真

表紙撮影 札幌市電の会 野村 紘一
デザイン 株式会社サングラフィックス

編集会議サポート

株式会社ノーザンクロス
俵谷 奈美江、行天 二季子
ライター 石田 美恵
幌西まちづくりセンター
所長 杉本 真弓
支援員 植田 泉、後藤 佳織
前所長 津田 和樹

参考文献

札幌市中央区役所公式ホームページ「歴史の散歩道(第8章)」
<<https://www.city.sapporo.jp/chuo/gaiyo/history/index.html#dai8>>2023年3月1日アクセス
札幌市(1991)「新札幌市史 第2巻 通史2」
幌西地区連合町内会(1992)「幌西連町20周年記念誌 20年のあゆみ」
幌西地区連合町内会(2003)「幌西史誌」
札幌市立幌西小学校開校50周年記念事業実行委員会(1977)「札幌市立幌西小学校開校50周年記念誌 こうさい」
札幌市(2008)「区民ページ 特集 通りを訪ねて 中央区通りマップ」、『広報さっぽろ』2008年11月号.2p

50周年記念プロジェクト ロゴマークについて



デザイン 幌西まちづくりセンター 元所長 折笠 大和

ロゴマークに込めた思い

まちづくり活動が活発で子どもの多い、明るい雰囲気を表す黄色を基調に、都心ながら藻岩山・円山・手稲山などの山並みを背景とした緑の豊かさをテーマにしました。東西に長い特徴的な地形を中心におき、市電西線が複線で行き交う線路がまちを結ぶ姿をイメージしています。

50周年記念誌／編集会議

片岡 うつ子 青少年育成委員会会長
川口 祥子 連町厚生部長
齋木 康江 連町総務部長
佐藤 仁人 連町防災部長
原 寿子 前・連町総務部理事
丸山 真智子 連町財務部理事
伊藤 麻子 幌西ほうおん施設長
吉澤 尚志 中央区介護予防センター曙・幌西

編集・執筆

50周年記念誌編集会議メンバー
幌西地区単位町内会長の皆さん

第1分区 吉岡 尊志
第2分区 片岡 うつ子
第3分区 前 肇
花園 山科 一夫
第5分区 大塚 義孝
第6分区 丸山 真智子
第7分区 松村 正一
第8分区 土井 清純
第9分区 柳町 久雄
第10分区 西田 郁子
旭山公園通 門岡 実
弥久茂 井雲 康晴
第12分区 城 猛
第13分区 野村 奨
伏見 加藤 研
第15分区 船林 宏
伏見3丁目 本田 玲枝

幌西地区連合町内会50周年記念誌
発行日／2023(令和5)年3月 発行者／幌西地区連合町内会
URL / <https://sapporokosai.com> MAIL / kosai.rencho@gmail.com
連絡先／011-561-3256(幌西まちづくりセンター)



2022(令和4)年
幌西地区連町50周年
思い出いろいろ

KOSAI
50th

来年も10年後も50年後も
幌西地区が
安心安全なまちでありますように

